

2024年12月期 第2四半期（中間期） 決算補足説明資料

株式会社アシックス 2024年8月13日



OneASICS会員
新規登録はこちらから



INDEX

1. 決算ポイント、トピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. その他

Appendix

INDEX

1. 決算ポイント、トピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. その他

Appendix

連結決算ハイライト

(単位：億円)

第2四半期 (1-6月)	FY23 Q2 実績	FY24 Q2 実績	前年同期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	2,900	3,421	+521 +18.0%
売上総利益	1,479	1,900	+421 +28.4%
売上総利益率	51.0%	55.5%	+4.5ppt
販管費	1,143	1,311	+168 +14.6%
販管費率	39.4%	38.3%	△1.1ppt
人件費	364	403	+39 +10.7%
広告宣伝費	192	233	+41 +21.1%
広告宣伝費率	6.6%	6.8%	+0.2ppt
賃借料	62	69	+7 +10.6%
減価償却費	85	97	+12 +15.0%
その他経費	440	509	+69 +15.7%
営業利益	336	589	+253 +75.5%
営業利益率	11.6%	17.2%	+5.6ppt
経常利益	338	578	+240 +71.0%
特別損益	△4	2	+6
親会社株主に帰属する 中間純利益	247	422	+175 +70.3%

	FY23 Q2 実績	FY24 Q2 実績	増減額	増減率
海外売上高	2,330	2,778	+448	+19.2%
海外比率	80.4%	81.2%	-	+0.8ppt

為替影響除く	連結売上高増減	+251	+8.7%
	連結営業利益増減	+212	+63.3%
	連結純利益増減	+132	+53.5%

平均為替レート（円）	FY23 Q2 実績	FY24 Q2 実績
1ドル	135.98	152.14
1ユーロ	147.19	164.69
1人民元	19.54	21.13

2024年12月期 第2四半期（中間期） 連結決算ポイント①

① 全体：全カテゴリー・全リージョン・全チャネルで粗利益率が改善。
その結果、過去最高の営業利益、営業利益率を達成。

- 売上高：3,421億円（前年同期比：+18.0%、為替影響除く：+8.7%）
- 粗利益率：55.5%（前年同期比：+4.5ppt）
- 営業利益：589億円（前年同期比：+75.5%） / 営業利益率：17.2%（前年同期比：+5.6ppt）
- 中間純利益：422億円（前年同期比：+70.3%）

② カテゴリー業績：P.RUNは2桁増収、SPS、OTは50%超の大幅増収。

- パフォーマンスランニング：カテゴリー利益率 24.0% 前年同期比 +4.2 ppt
日本、北米、中華圏、東南・南アジアが全体の伸びを強く牽引。（売上高：前年同期比+15.6%）
- スポーツスタイル：カテゴリー利益率 27.9% 前年同期比 +8.6 ppt
引き続きVINTAGE TECHなどの販売が好調であり、特に、北米では2倍超、中華圏では約2倍の増収。（売上高：前年同期比 +63.8%）
- オニツカタイガー：カテゴリー利益率 38.0% 前年同期比 +10.3 ppt
日本ではインバウンド売上が過去最高となったこともあり大幅増収、中華圏、東南・南アジアなども大きく成長。（売上高：前年同期比 +55.1%）

2024年12月期 第2四半期（中間期） 連結決算ポイント②

① 地域業績：主要地域において大幅増益

- アシックスジャパン：営業利益率 23.1% 前年同期比 +9.7 ppt
販売単価の上昇やDTC比率の向上による粗利益率の改善、さらに販管費率の低下もあり営業利益率は大幅に改善
- 欧州：営業利益率 16.5% 前年同期比 +6.3 ppt
エントリーモデルの絞込みなどによる粗利益率の改善により営業利益率が大幅に改善
- 中華圏：営業利益率 22.5% 前年同期比 +1.4 ppt
弱い経済指標が見られる中国でも、全カテゴリーで増収（売上高：前年同期比 +21.5%）

② 在庫効率：増収効果等によりDIOは改善

- 連結のDIO（棚卸資産回転期間）は154日と前年同期比改善（27日短縮）
- 25SSシーズン商品から、カテゴリーを中心として、需要計画の妥当性を地域毎に精査する「レビュー会」を実施、
需要最適化・余剰在庫削減に取り組む中

③ 資本政策：政策保有株式の売却、株式売出し、自己株式取得

- 資本効率向上に向けてアシックスグループが保有する全政策保有株式の年内売却を発表
- グローバル水準のコーポレートガバナンスの追求に加え、グローバル競合の株主構成、OneASICS経営推進や資本コスト低減を見据えた株主構成の再構築等のため、金融機関等の安定株主が持つ政策保有株式をグローバルで売出し
- 財団設立と政策保有株式売却益を見据え、200億円の自己株式の取得を発表

オリンピックにおけるサポート選手の活躍とアシックスの取り組み

- ・ 約300名のアシックスサポート選手が出場（前回大会比+約50%）
- ・ パリ市内で「ASICS HOUSE」を開設し、選手や競技団体関係者、メディア、インフルエンサーとのコミュニケーションを実施



Novak Djokovic (セルビア)
テニス 男子シングルス



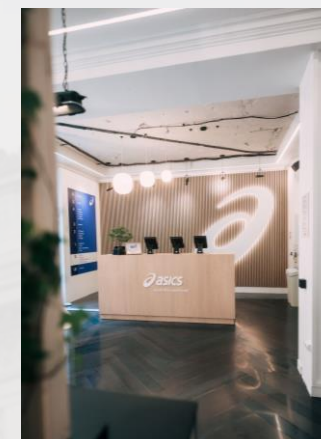
Jasmine Paolini (イタリア)
テニス 女子ダブルス



クレイトン・ヤング (アメリカ)
男子マラソン



バシル・アブディ(ベルギー)
男子マラソン



ASICS HOUSE



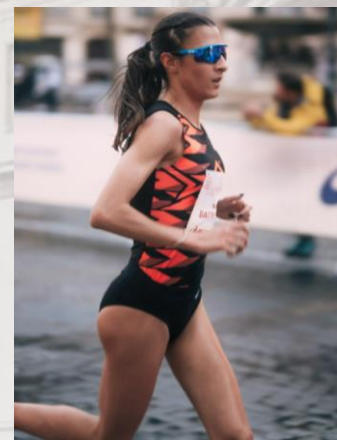
赤間 凜音 (日本)
スケートボード 女子ストリート



バレーボール 男子 (日本)



河村勇輝 (日本)
バスケットボール 男子



ナディア・バットクレッティ(イタリア)
女子10000m



ASICS HOUSEに
ジョコビッチ選手が来訪

政策保有株式売却及び株式売出し

- ・ アシックスグループが持つ政策保有株式を2024年内に全て売却
- ・ 国内及び米国を含む海外にて普通株式の売出しを実施
- ・ グローバル水準のコーポレートガバナンスを追求し、資本市場においてもフロントランナーになることを目指す

狙い

- 1 資本効率向上及び資本市場への説明責任を果たす
- 2 グローバルな資本市場と全面的に向き合う
- 3 優良機関投資家の取り込み
- 4 個人株主の拡充とOneASICS経営の推進
- 5 資本コストの低減

結果

株主基盤を再構築

長期的なアシックスの成長に期待する株主が増加

個人株主

15,210名

が株式購入

(2023年末時点：33,855名)

機関投資家

127社

が株式購入

(うち、新規投資家94社)

一般財団法人設立検討

1 財団の目的

- ・ 「誰もが一生涯スポーツに関わり、心と身体が健康で居続けられる世界」を実現

2 財団の概要

- ・ 名称：一般財団法人 ASICS Foundation（仮称）
- ・ 設立年月：2025年4月（予定）
- ・ 活動内容：グローバルで、社会的または経済的困難な状況にある青少年、障がい者、女性等へ、運動・スポーツを通じた支援を提供する団体への助成

3 活動原資

- ・ アシックスの保有する自己株式を処分（財団に割当）、配当収入を活動原資に
- ・ 希薄化による株式市場への影響を考慮し、議決権割合で1%未満の処分
- ・ 信託設定による議決権不行使のスキームも検討



デジタルに関する取組み

- OneASICS会員数及びEC売上高はともに順調に成長
- 経済産業省と東京証券取引所が共同で選ぶ「DXグランプリ2024」に選定

OneASICS会員数とEC売上高の推移

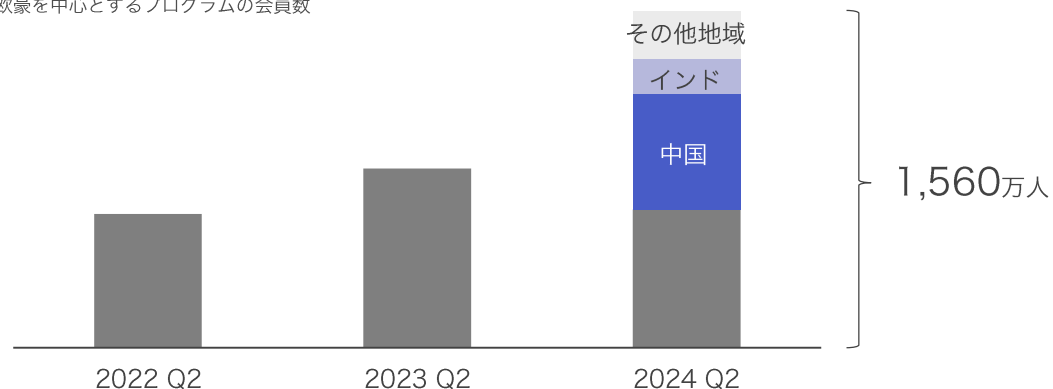
	2022年Q2	2023年Q2	2024年Q2	前年同期比
OneASICS会員数	620万人	830万人	1,560万人*1 (1,056万人*2)	+27.2%*2
EC売上高	363億円	496億円	671億円	+35.3%

*1 OneASICS経営を全社一丸で推進すべく、今期より従来の日米欧豪を中心とするプログラムの会員数に加え、中国・インドなどで展開するローカルプログラムの会員数を集計。加えて、個人情報の扱いの観点から、アシックスプライバシーポリシーに基づき2年以上ご利用のないアカウントの失効・削除を実施

*2 2023年Q2と前提を一致させた会員数（日米欧豪が中心、削除実施前）。増減もこの会員数と比較

OneASICS会員数推移

■ 日米欧豪を中心とするプログラムの会員数



DXグランプリ2024



DXグランプリ評価ポイント

- **経営価値貢献**
データ経営を行うことにより、経営の見える化、サプライチェーンの強化などを行い、実際に財務成果を出すなど、デジタル戦略がビジネスモデルの強化につながっている
- **DX実現能力**
システム基盤をグローバルで統合。加えて、機能役割に応じたグローバルな拠点設置・人材配置を行っている
- **ステークホルダーへの開示**
経営戦略とデジタル戦略が融合しており、デジタル戦略が企業価値に貢献していることがよく理解できる

INDEX

1. 決算ポイント、トピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. その他

Appendix

2024年12月期 第2四半期（中間期） 概要

売上高

3,421億円（前年同期 2,900億円）

前年同期比 : +521億円 +18.0%
為替影響除く : +251億円 +8.7%

☑ 過去最高。前年同期比で+18.0%、為替影響を除いても+8.7%の成長。

- ・ 北米ランニング専門店で為替影響除き+27.9%の大幅伸長など、全地域で好調に推移し、パフォーマンスランニングは+15.6%の成長。
- ・ VINTAGE TECHの継続的な成長により、北米では2倍超、中華圏では約2倍の増収となり、スポーツスタイルで+63.8%の大幅伸長。
- ・ インバウンド売上が過去最高の日本に加え、中華圏、東南・南アジアなども大きく成長したオニツカタイガーで+55.1%の大幅増収。

営業利益

589億円（前年同期 336億円）

前年同期比 : +253億円 +75.5%
為替影響除く : +212億円 +63.3%

☑ 過去最高。前年同期比75%超の増益。

- ・ 粗利益率は55.5%。高付加価値製品への戦略的なシフトやチャネルミックスの良化などが奏功し、前年同期から+4.5ppt改善。
- ・ 営業利益率は前年同期の11.6%から17.2%へ（+5.6ppt）。

中間純利益

422億円（前年同期 247億円）

前年同期比 : +175億円 +70.3%
為替影響除く : +132億円 +53.5%

☑ 過去最高。前年同期比70%超の増益。

連結決算ハイライト

再掲

(単位：億円)

第2四半期 (1-6月)	FY23 Q2 実績	FY24 Q2 実績	前年同期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	2,900	3,421	+521 +18.0%
売上総利益	1,479	1,900	+421 +28.4%
売上総利益率	51.0%	55.5%	+4.5ppt
販管費	1,143	1,311	+168 +14.6%
販管費率	39.4%	38.3%	△1.1ppt
人件費	364	403	+39 +10.7%
広告宣伝費	192	233	+41 +21.1%
広告宣伝費率	6.6%	6.8%	+0.2ppt
賃借料	62	69	+7 +10.6%
減価償却費	85	97	+12 +15.0%
その他経費	440	509	+69 +15.7%
営業利益	336	589	+253 +75.5%
営業利益率	11.6%	17.2%	+5.6ppt
経常利益	338	578	+240 +71.0%
特別損益	△4	2	+6
親会社株主に帰属する 中間純利益	247	422	+175 +70.3%

	FY23 Q2 実績	FY24 Q2 実績	増減額	増減率
海外売上高	2,330	2,778	+448	+19.2%
海外比率	80.4%	81.2%	-	+0.8ppt

為替影響除く	連結売上高増減	+251	+8.7%
	連結営業利益増減	+212	+63.3%
	連結純利益増減	+132	+53.5%

平均為替レート（円）	FY23 Q2 実績	FY24 Q2 実績
1ドル	135.98	152.14
1ユーロ	147.19	164.69
1人民元	19.54	21.13

連結決算ハイライト（3ヶ月期間）

（単位：億円）

第2四半期 (4-6月)	FY23 Q2 実績	FY24 Q2 実績	前年同期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	1,378	1,680	+302 +22.0%
売上総利益	715	952	+237 +33.1%
売上総利益率	51.9%	56.7%	+4.8ppt
販管費	600	701	+101 +16.6%
販管費率	43.6%	41.7%	△1.9ppt
人件費	189	212	+23 +12.5%
広告宣伝費	105	128	+23 +21.3%
広告宣伝費率	7.6%	7.6%	+0.0ppt
賃借料	32	36	+4 +11.3%
減価償却費	44	49	+5 +13.0%
その他経費	230	276	+46 +20.0%
営業利益	115	251	+136 +119.2%
営業利益率	8.3%	15.0%	+6.7ppt
経常利益	119	248	+129 +108.0%
特別損益	△1	2	+3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	84	155	+71 +82.5%

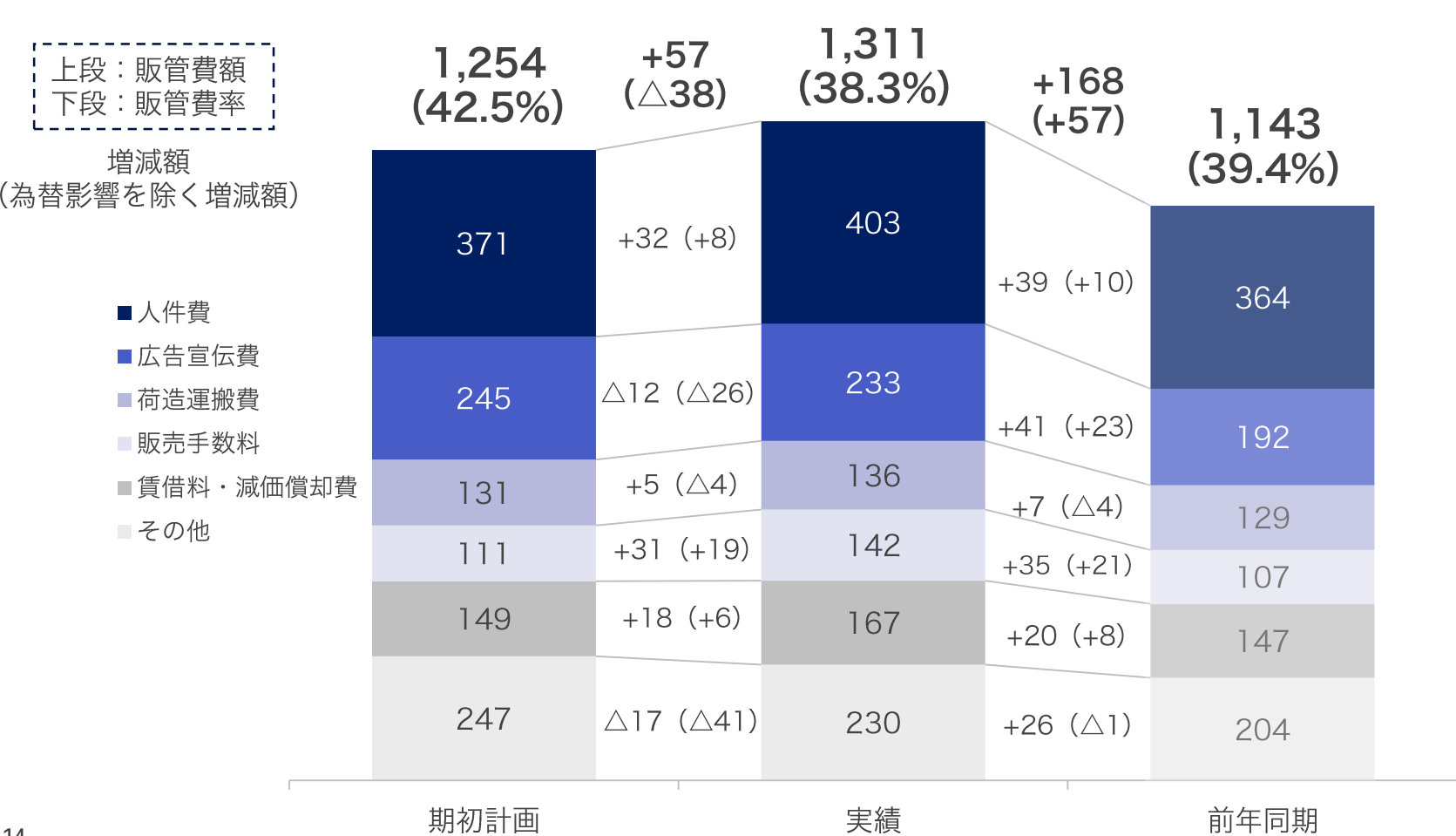
	FY23 Q2 実績	FY24 Q2 実績	増減額	増減率
海外売上高	1,109	1,377	+268	+24.1%
海外比率	80.5%	81.9%	-	+1.4ppt

為替影響除く	連結売上高増減	+168	+12.2%
	連結営業利益増減	+119	+103.5%
	連結純利益増減	+47	+56.0%

四半期推移	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	1,741	1,680		
営業利益	338	251		
営業利益率	19.4%	15.0%		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	267	155		

販管費の状況

- ・ 期初計画比は、売上が計画比+7.9%の増収となった一方、販管費は△3.0%（いずれも為替影響を除く）。
- ・ 前年同期比は、168億円増加も為替影響(+111億円)を除くと57億円増加に留まる。主要因は今期導入したプロフィットシェア（約21億円）などの人的資本投資の強化による人件費の増加、オリンピック/パラリンピック関連、デジタル関連の広告宣伝費の増加、売上連動コストの増加によるもの。但し、販管費率は38.3%へ。



平均為替レート (円)	FY24Q2 計画	FY24Q2 実績	FY23Q2 実績
1ドル	140.00	152.14	135.98
1ユーロ	150.00	164.69	147.19
1人民元	19.50	21.13	19.54

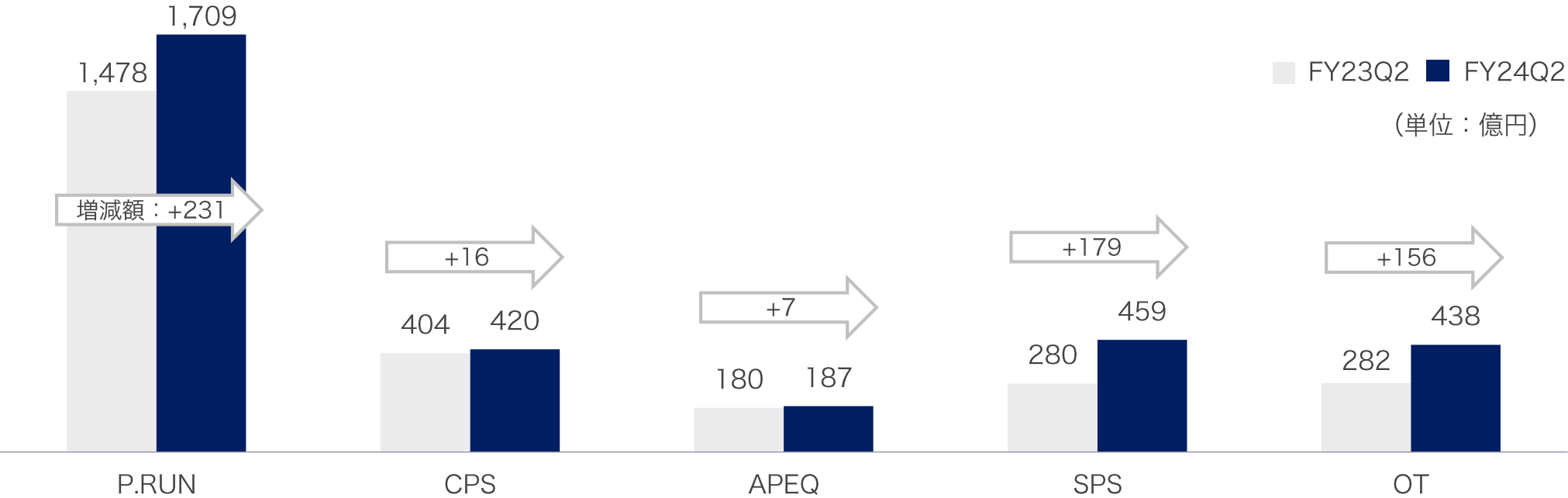
INDEX

1. 決算ポイント、トピック
2. 連結業績
- 3. 連結経営成績（カテゴリー別）**
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. その他

Appendix

カテゴリー別連結売上高

- P.RUNは、エントリーモデルの絞込みを行いながらも、全地域で増収。
- SPSは全地域で大幅増収。特に北米では2倍超、中華圏は約2倍と著しく伸長。
- OTは全地域で大幅増収。特に、インバウンド売上の影響が大きい日本に加え、中華圏、東南・南アジアでも大幅伸長。



増減率	+15.6%	+4.1%	+3.5%	+63.8%	+55.1%
為替影響を除く	+4.7%	△2.7%	△3.8%	+48.5%	+47.3%

カテゴリ利益等一覧

- カテゴリ利益はCPSを除く全カテゴリで増益.
- カテゴリ外コストは、為替影響（+13億円）を除いて実質+3億円の増加。コストオーナー制の下、売上拡大の状況においても前年同期比ほぼ横ばいでコントロール.

（単位：億円）

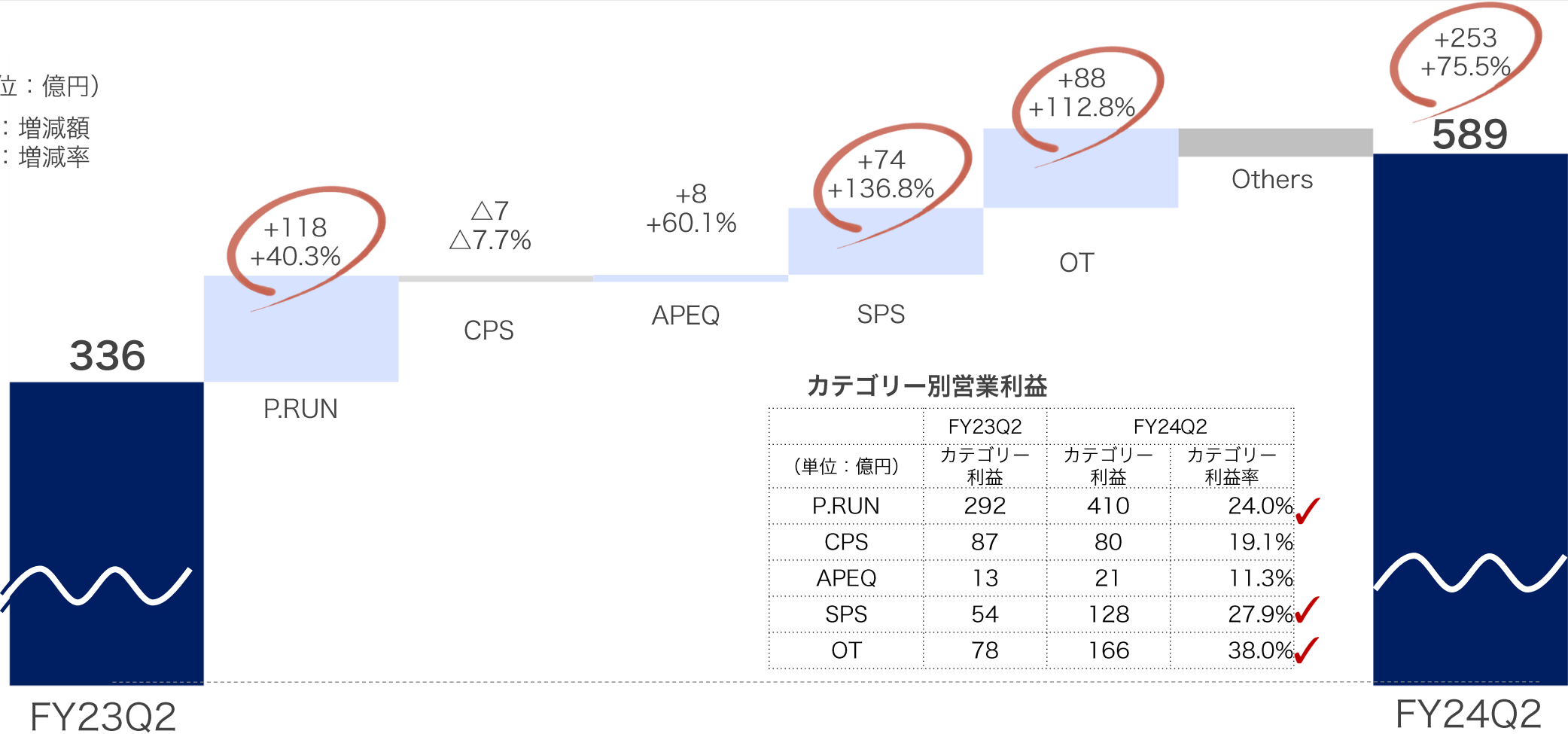
	P.RUN	CPS	APEQ	SPS	OT	Others	Total
売上高	1,709 (+231)	420 (+16)	187 (+7)	459 (+179)	438 (+156)	208 (△68) ※	3,421 (+521)
カテゴリ利益	410 (+118)	80 (△7)	21 (+8)	128 (+74)	166 (+88)		
カテゴリ外コスト							211 (+16)
連結営業利益							589 (+253)

（ ）内は前年同期比 ※Othersの減収は、主にHaglöfs事業を前期に売却した影響（FY23Q2売上高48億円）によるものです.

連結営業利益内訳（カテゴリー別）

- 連結全体では第2四半期において500億円を超える過去最高益に.
- P.RUN、SPS、OTは主に増収や粗利益率の改善により大幅増益.

(単位：億円)
上段：増減額
下段：増減率



パフォーマンスランニング (P.RUN)

(単位：億円)

第2四半期 (1-6月)			FY23Q2	FY24Q2	前年同期比 増減額 増減率	
売	上	高	1,478	1,709	+231	+15.6%
為替影響除く				1,548	+70	+4.7%
カ	テ	ゴ	292	410	+118	+40.3%
リー利益率			19.8%	24.0%	-	+4.2ppt
3か月期間 (4-6月)			FY23Q2	FY24Q2	前年同期比 増減額 増減率	
売	上	高	699	830	+131	+18.7%
為替影響除く				751	+52	+7.4%
カ	テ	ゴ	123	181	+58	+46.3%
リー利益率			17.6%	21.8%	-	+4.2ppt

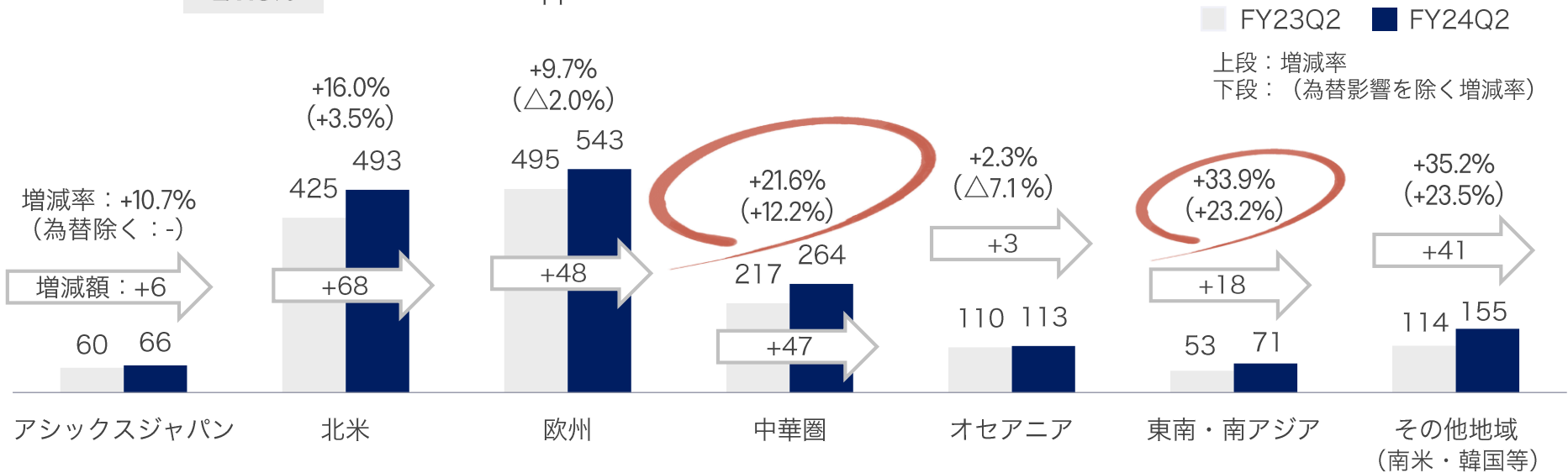


SUPERBLAST 2 PARIS

前作よりもさらに履き心地を追求し、アスリートから市民ランナーまで日々のトレーニングをサポートする、軽量かつ反発性に優れたランニングシューズ。

ポイント

- 売上高および粗利益は、エントリーモデルの絞込みを行いながらも、全体では増収増益。
- 北米でのランニング専門店向け売上は前年同期比+27.9%の増収（為替除く）。
- 第2四半期3ヵ月間の売上高は、為替を除いても前年同期比+7.4%の増収。
- 粗利益率は52.9%（前年同期比+4.5ppt）と改善。主にチャネルミックスの良化や、特に北米や欧州におけるエントリーモデルの絞込み等で粗利益率向上。
- カテゴリー利益は大幅増益。粗利益率向上により、カテゴリー利益率向上。
- マラソンシーズンに向けて、パフォーマンスアイテムを積極的に投入していく。



コアパフォーマンススポーツ（CPS）

（単位：億円）

第2四半期 (1-6月)			FY23Q2	FY24Q2	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高			404	420	+16	+4.1%
為替影響除く				393	△11	△2.7%
カテゴリー利益			87	80	△7	△7.7%
カテゴリー利益率			21.5%	19.1%	-	△2.4ppt

3か月期間 (4-6月)			FY23Q2	FY24Q2	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高			177	172	△5	△2.8%
為替影響除く				160	△17	△9.8%
カテゴリー利益			30	16	△14	△41.4%
カテゴリー利益率			16.9%	9.5%	-	△7.4ppt

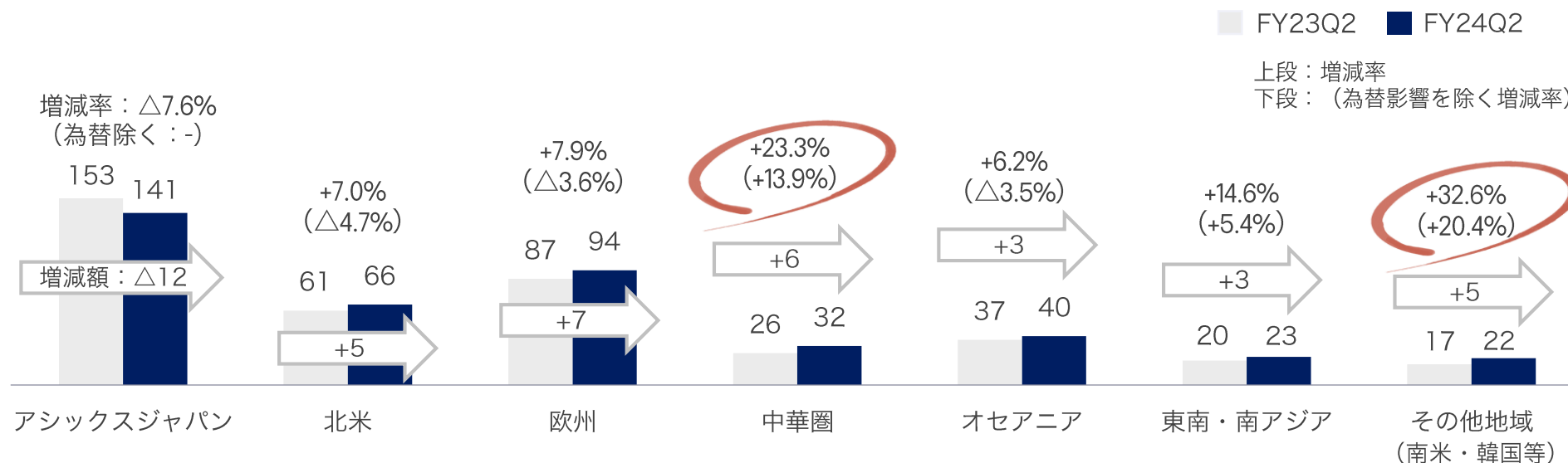
ポイント

- 売上高は、一部事業の戦略的縮小もありアシックスジャパンが減収となったものの、中華圏、その他地域が好調により増収。
- 粗利益率は44.9%（前年同期比+0.9ppt）と改善。
- カテゴリー利益は減益も、計画を上回り推移。
- 数量限定モデルや、プロバレーボール 高橋藍選手など契約アスリートを活用したイベントによりビジネスを強化し、アシックスならではのブランド体験を提供。



SKY ELITE FF MT 3 PARIS

METARISE 2のDNAを受け継ぐ、反発性とクッション性を兼ね備えたフラッグシップモデル。プロバレーボール 高橋藍選手着用モデル。



アパレル・エキップメント (APEQ)

(単位：億円)

第2四半期 (1-6月)			FY23Q2	FY24Q2	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高			180	187	+7	+3.5%
為替影響除く				173	△7	△3.8%
カテゴリー利益			13	21	+8	+60.1%
カテゴリー利益率			7.3%	11.3%	-	+4.0ppt

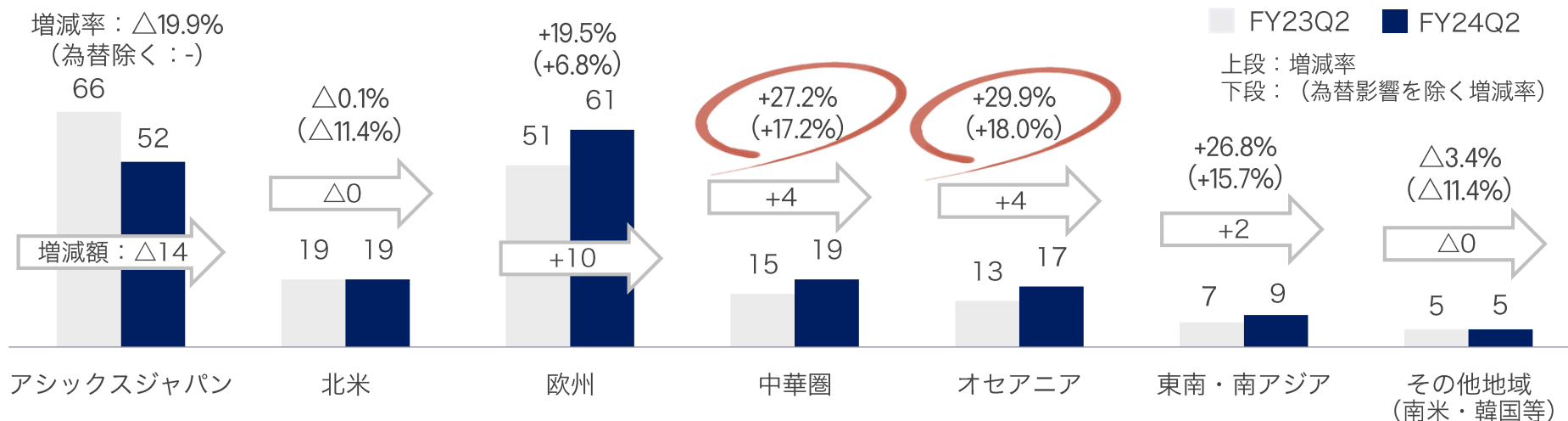
3か月期間 (4-6月)			FY23Q2	FY24Q2	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高			84	93	+9	+10.8%
為替影響除く				87	+3	+2.8%
カテゴリー利益			7	10	+3	+42.9%
カテゴリー利益率			8.3%	11.5%	-	+3.2ppt

ポイント

- 売上高は、主に日本地域の戦略的なビジネス縮小の影響で減収。計画通りの進捗。
- 第2四半期3ヵ月間の売上高は欧州、中華圏、オセアニアの影響で増収。
- 粗利益率は52.6%（前年同期比+3.8ppt）と改善。特に欧州での価格適正化による良化。
- カテゴリー利益は北米および欧州の粗利率改善により増益。
- 筋肉のエネルギーロスを低減するMOTION MUSCLE SUPPORTスピードタイツをトップアスリートに提供し、各種マラソン大会でのブランド露出の最大化を図る。



MOTION MUSCLE SUPPORTスピードタイツ
走行動作の効率的なサポート機能を追究したタイツ。



スポーツスタイル (SPS)



GEL-NIMBUS10.1

2008年に発売された「GEL-NIMBUS10」をベースに、
象徴的なディテールや機能性を搭載してライフスタイル
シューズとして現代風にアップデートしたモデル。

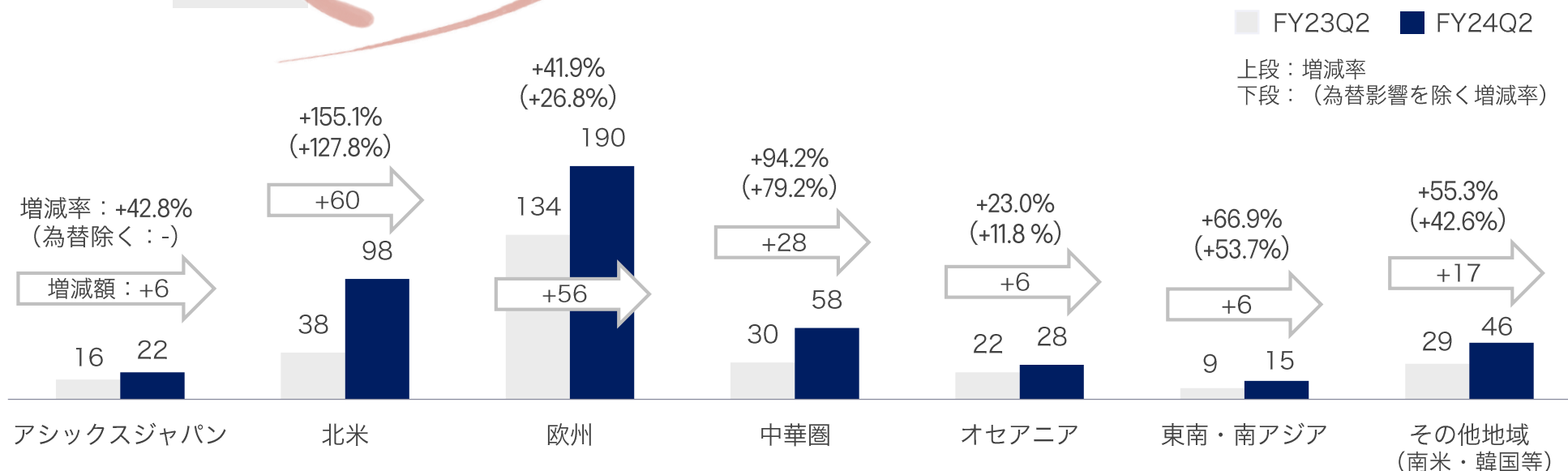
(単位：億円)

第2四半期 (1-6月)			FY23Q2	FY24Q2	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高			280	459	+179	+63.8%
為替影響除く				417	+137	+48.5%
カテゴリー利益			54	128	+74	+136.8%
カテゴリー利益率			19.3%	27.9%	-	+8.6ppt

3か月期間 (4-6月)			FY23Q2	FY24Q2	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高			126	224	+98	+78.6%
為替影響除く				204	+78	+61.5%
カテゴリー利益			17	57	+40	+235.3%
カテゴリー利益率			13.5%	25.6%	-	+12.1ppt

ポイント

- 売上高は、前年同期比で大幅増収。
- 第2四半期3ヵ月間の売上高は第1四半期に引き続きVINTAGE TECHを中心としたトレンドにより牽引。特に北米、欧州での好調な販売により前年に対して増収。
- 粗利益率は、高粗利率商品の好調な販売により51.5%（前年同期比+3.0ppt）と改善。
- カテゴリー利益は大幅増益。
- 戦略的にブランド価値及び新商品を訴求するため、パリファッションウィーク期間中のポップアップに代表されるようなイベントならびにSNS・ECなどのデジタルチャネルを通じて、プロダクトストーリーを発信していく。



オニツカタイガー (OT)



DELECITY L

定番モデル「DELECITY」をクラシックにアップデートした
コートシューズがベースの「DELECITY L」。

(単位：億円)

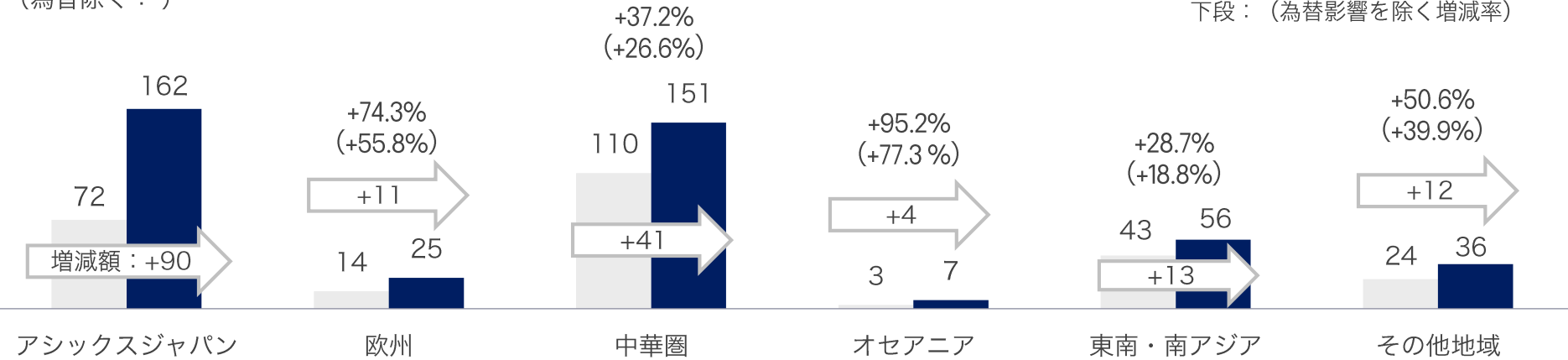
第2四半期 (1-6月)			FY23Q2	FY24Q2	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高			282	438	+156	+55.1%
為替影響除く				416	+134	+47.3%
カテゴリー利益			78	166	+88	+112.8%
カテゴリー利益率			27.7%	38.0%	-	+10.3ppt

3か月期間 (4-6月)			FY23Q2	FY24Q2	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高			161	258	+97	+59.9%
為替影響除く				245	+84	+51.5%
カテゴリー利益			48	102	+54	+114.9%
カテゴリー利益率			29.8%	39.4%	-	+9.6ppt

ポイント

- 売上高は全地域で2桁以上の増収。特に日本、中華圏、東南・南アジアで大幅増収。
- 第2四半期3ヵ月期間の売上高は日本及び中華圏が好調に推移し、第1四半期3ヵ月期間を上回る伸長率。
- 粗利益率は73.4%（前期+5.2ppt）と改善。適切なブランドコントロールやリテール構成比率上昇。
- カテゴリー利益は、主に増収に伴う増益。
- 75周年アニバーサリーイベントを開催（7月パリ・8月東京）
- 過去最大規模にてミラノファッションショーへ参加（9月）

増減率：+122.9%
(為替除く：-)



(南米・韓国等)

INDEX

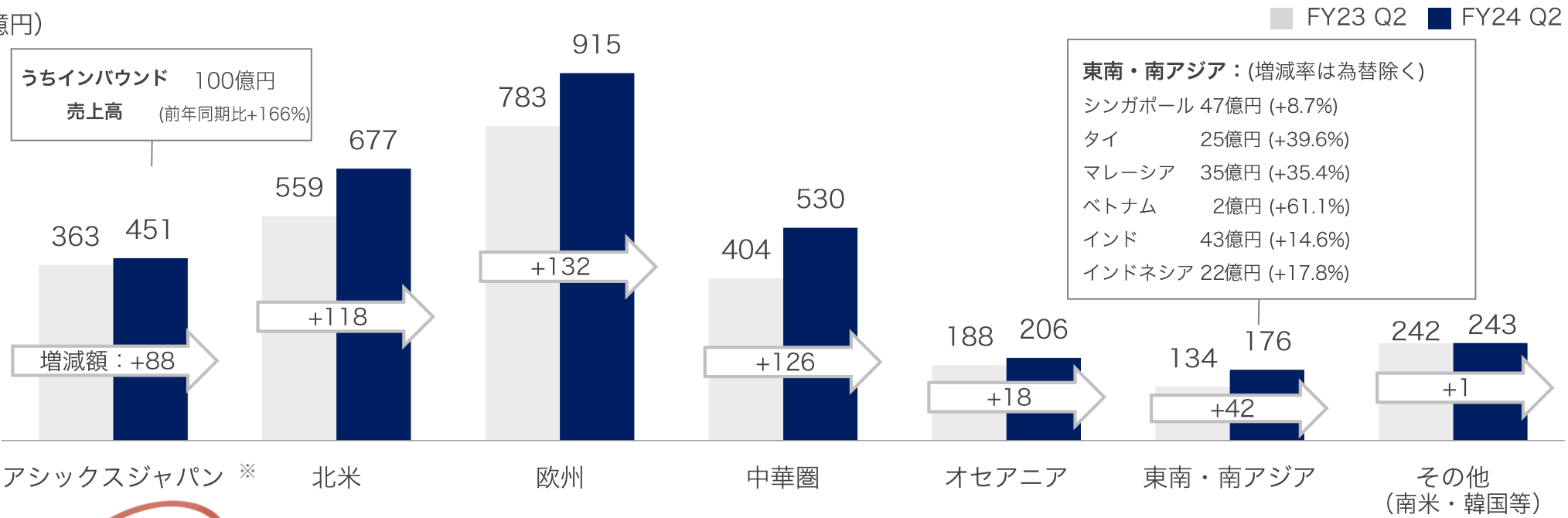
1. 決算ポイント、トピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
- 4. 連結経営成績（地域別）**
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. その他

Appendix

地域別売上高

- アシックスジャパンは、P.RUNやインバウンドを含む売上が好調なOTの伸長により+24.2%の成長。
- 北米は、ランニング専門店での大幅伸長（+27.9%）とSPSを軸に、堅調な成長を維持。
- 中華圏は、弱い経済指標が見られる中国でも、全カテゴリーで増収を継続し、+21.1%の増収。
- 「その他」地域も昨年売却したHaglöfs ABを除くと為替除きで実質増収。

(単位：億円)



増減率	+24.2%	+21.1%	+16.9%	+31.3%	+9.4%	+31.1%	+0.7%
為替影響を除く	-	+8.1%	+4.5%	+21.1%	△0.6%	+20.8%	△8.5%

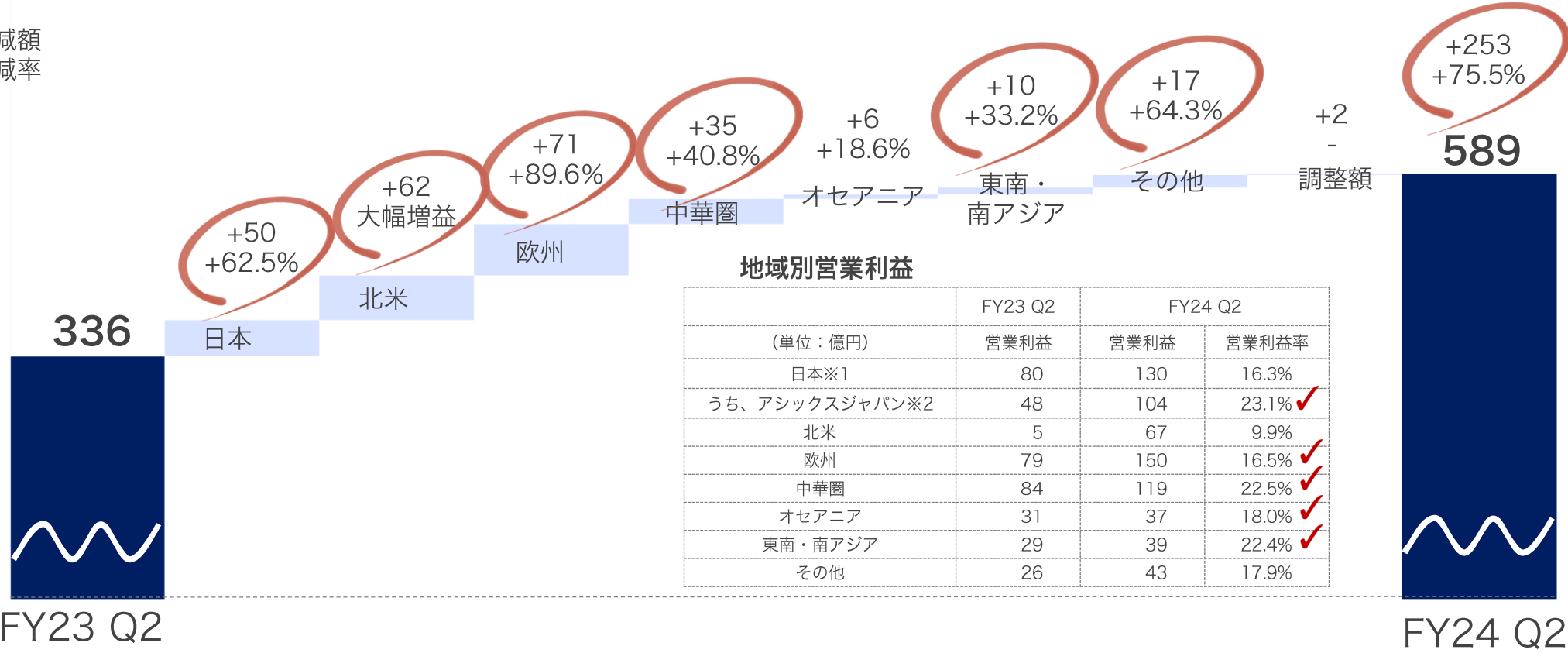
※ 決算短信における日本地域の売上は、前期 691億円、当期 798億円です。当説明資料においては、他の地域との比較可能性を考え、主要5カテゴリーを販売するアシックスジャパンとしております。

※ 前期との比較可能性を考え、FY23 Q2の売上高から2024年1月1日にアシックス商事に移管した事業の売上高（72億円）を除いております。

連結営業利益内訳（地域別）

- アシックスジャパンは、販売単価の上昇やDTC比率の向上による粗利益率の改善、さらに販管費率の低下もあり営業利益率は大幅に改善。
- 欧州は、戦略的なアカウントの絞り込みなどを背景に粗利率が上昇し、前年同期比+89.6%と大幅増益。
- 中華圏は、全カテゴリーで増収、販売単価の上昇などによる粗利益率の改善もあり、大幅増益。

上段：増減額
下段：増減率



※1 日本地域には、アシックスジャパンの他、アシックス商事、ニシスポーツなどの会社を含みます。
 ※2 前期との比較可能性を考え、FY23 Q2の営業利益から2024年1月1日にアシックス商事に移管した事業の営業利益（4億円）を除いております。

北米地域における取組み

1 ランニング専門店におけるビジネス拡大とエントリーモデルの縮小

	2022	2023	2024
ランニング専門店 シェア*	9.1%	11.0%	13.1% (6月)
エントリーモデル 構成比 (売上高ベース)	26.3%	22.2%	20.5% (上期)

*当社依頼調査会社の情報に基づくデータをもとに当社にて作成

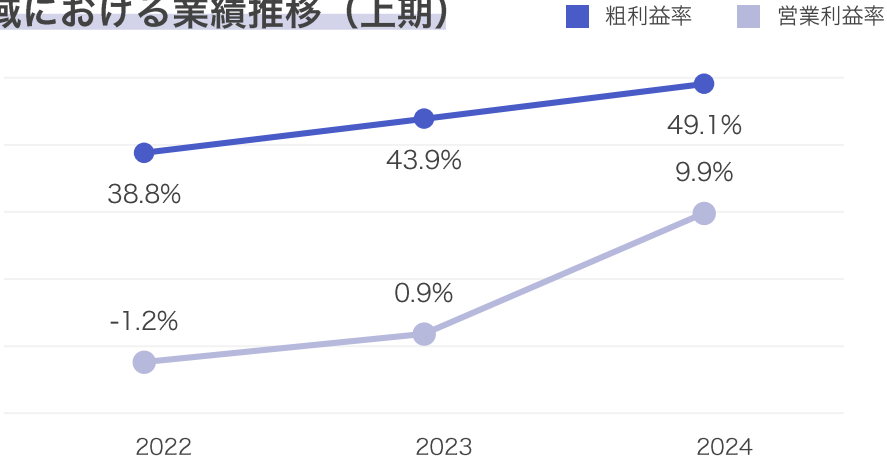
2 厳格な在庫管理のもと、スポーツスタイルの成長を追求

	2022（通期）	2023（通期）	2024（上期）
SPS 売上高成長率 (前年同期比)	+16.2%	+32.0%	+155.1%

3 直営店の選択と集中

	2022（通期）	2023（通期）	2024（上期）
直営店数	95	73	72

北米地域における業績推移（上期）



ランニング専門店での商品試し履きイベントの様子

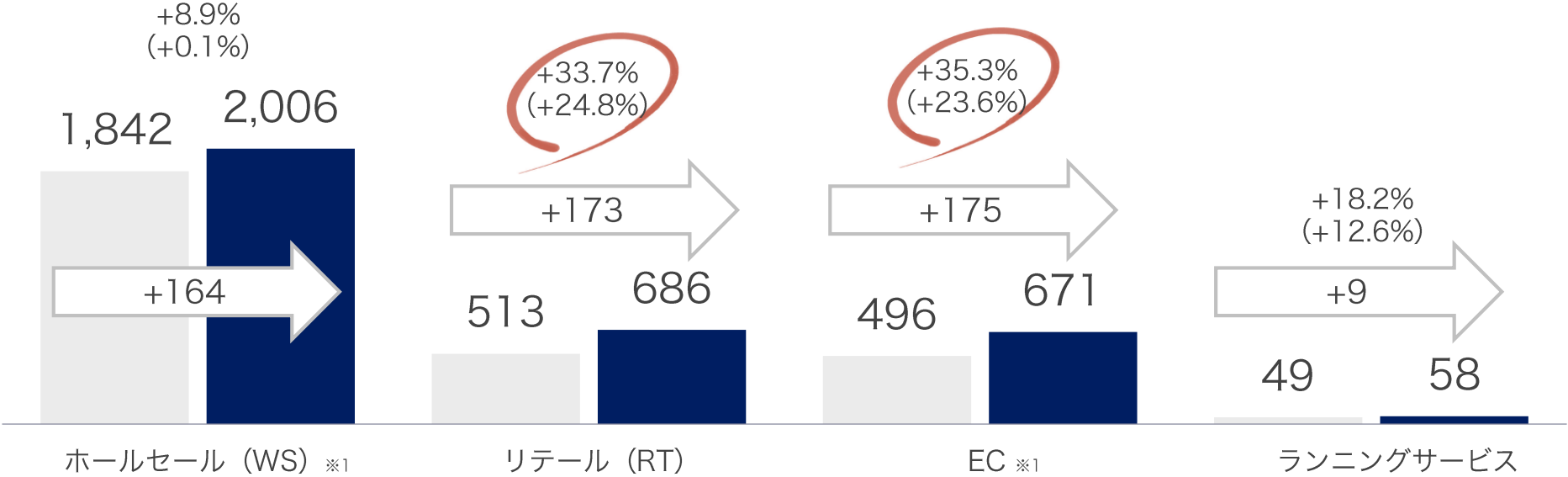
チャネル別売上高

- ホールセールは、北米、中華圏、東南・南アジアの2桁成長はあったものの、戦略的な事業撤退・縮小などの影響もあり+0.1%。
- リテールは、日本や中華圏などでの増収により+24.8%（アシックスジャパン +53.1%、中華圏 +17.3%）。
- ECは、OneASICS経営のもと、前年同期比+23.6%と、大幅伸長。特に、中華圏（+28.9%）や欧州（+28.6%）が牽引。

（単位：億円）

■ FY23 Q2 ■ FY24 Q2

上段：増減率
下段：（為替影響を除く増減率）



チャネル別 売上高構成	63.5%	58.7%	17.7%	20.0%	17.1%	19.6%	1.7%	1.7%
----------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------

※1 自社ECサイトとマーケットプレイスはECに含み、ホールセールEリテラーはホールセールに含んでおります。

連結売上高（月別・四半期別）

FY24 FY23 売上速報 前年同月比%（為替影響を除く増減率）

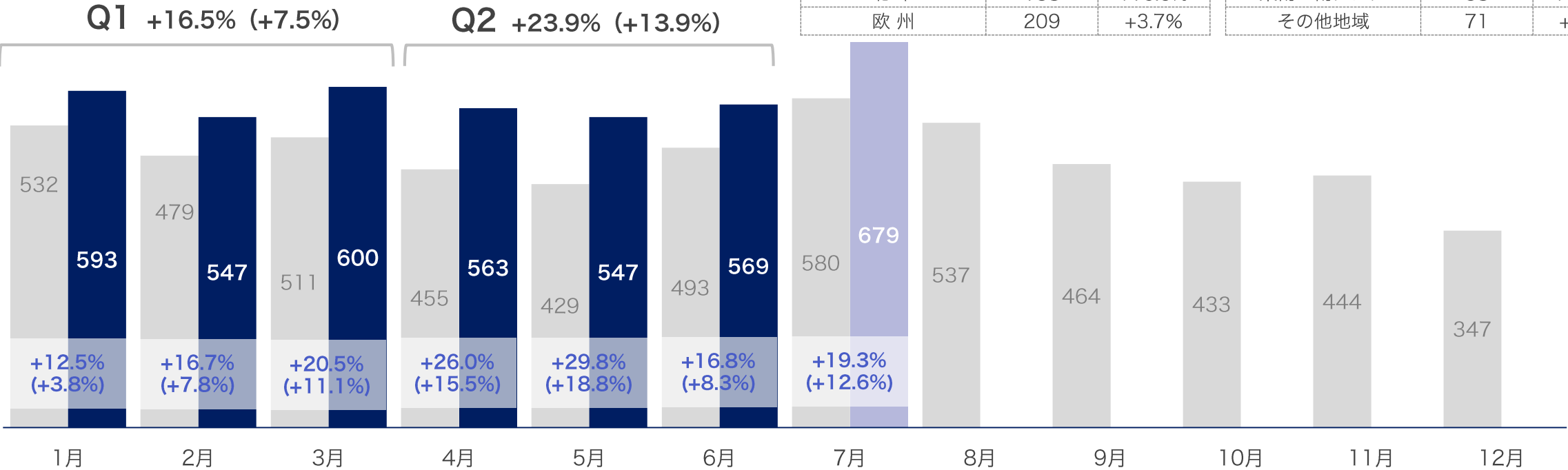


- 24年7月単月売上は過去最高の679億円。前年同月比+19.3%。為替影響を除いても+12.6%と第2四半期並みの成長を維持。 ※1
- P.RUN/SPS/OTは好調を維持。特に、SPSは前年同月比+55.8%（為替除く+44.9%）、OTは前年同月比+44.1%（為替除く+38.8%）と大幅増収。
- 地域別では、全地域で堅調に推移。特に、アシックスジャパン、北米、オセアニア、東南・南アジア等で大きく伸長。
- なお、中華圏は、月初の着荷の調整分（9月分）を考慮すると実質2桁増収。

（単位：億円）

7月度主要地域売上

	売上高	為替影響を除く増減率		売上高	為替影響を除く増減率
連結	679	+12.6%	中華圏	84	+2.7%
アシックスジャパン	88	+41.8% ※2	オセアニア	47	+13.4%
北米	138	+16.5%	東南・南アジア	38	+43.3%
欧州	209	+3.7%	その他地域	71	+3.2% ※2



※ 2024年7月の売上高は速報データに基づいているため、確定データとは差異が生じることがあります。
※1 月別・四半期別、及び地域別売上高増減率について、前期に売却したHaglöfs ABの影響額を除いております。
※2 増減率について、2024年1月よりアシックスジャパンからアシックス商事に一部事業を移管した影響（11億円）を除いております。

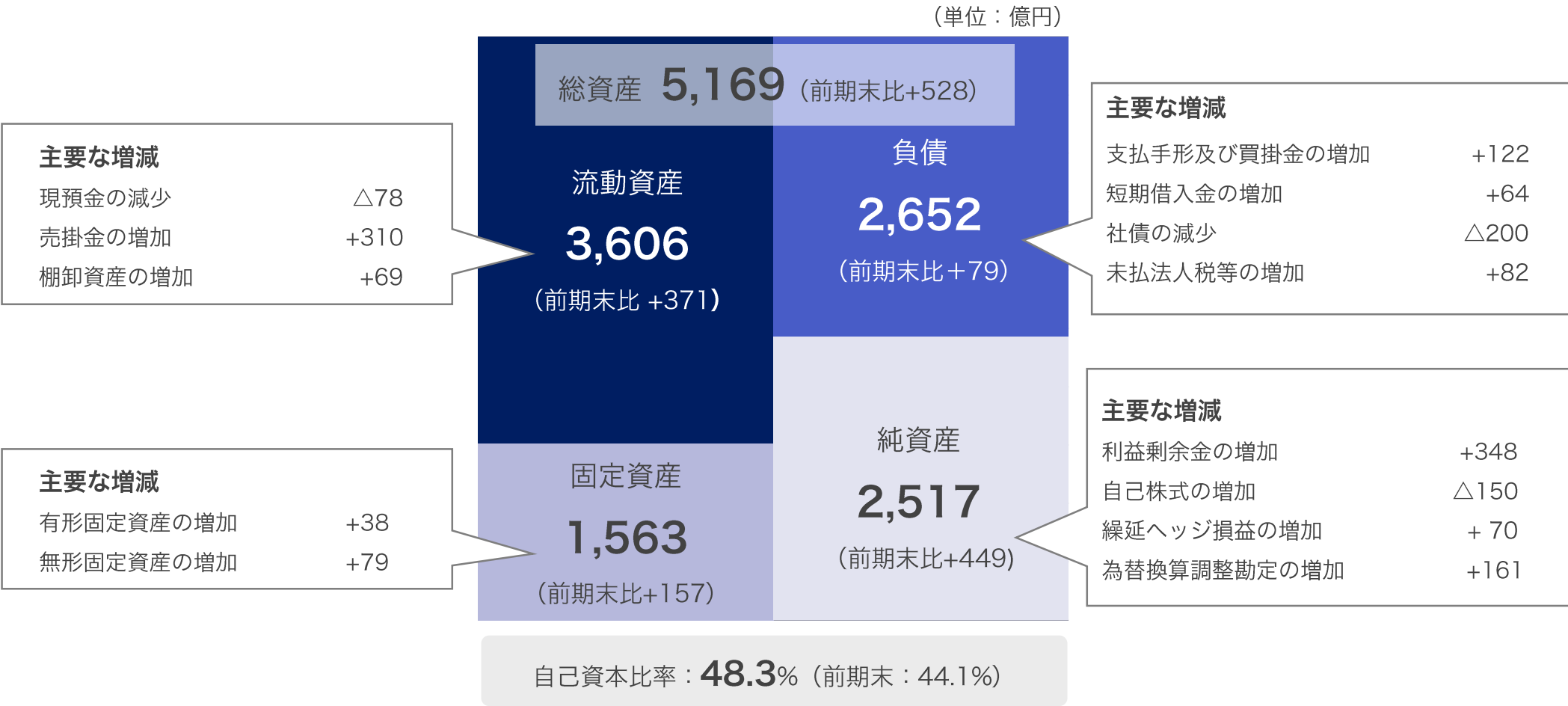
INDEX

1. 決算ポイント、トピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
- 5. 連結財政状態**
6. 連結業績予想
7. その他

Appendix

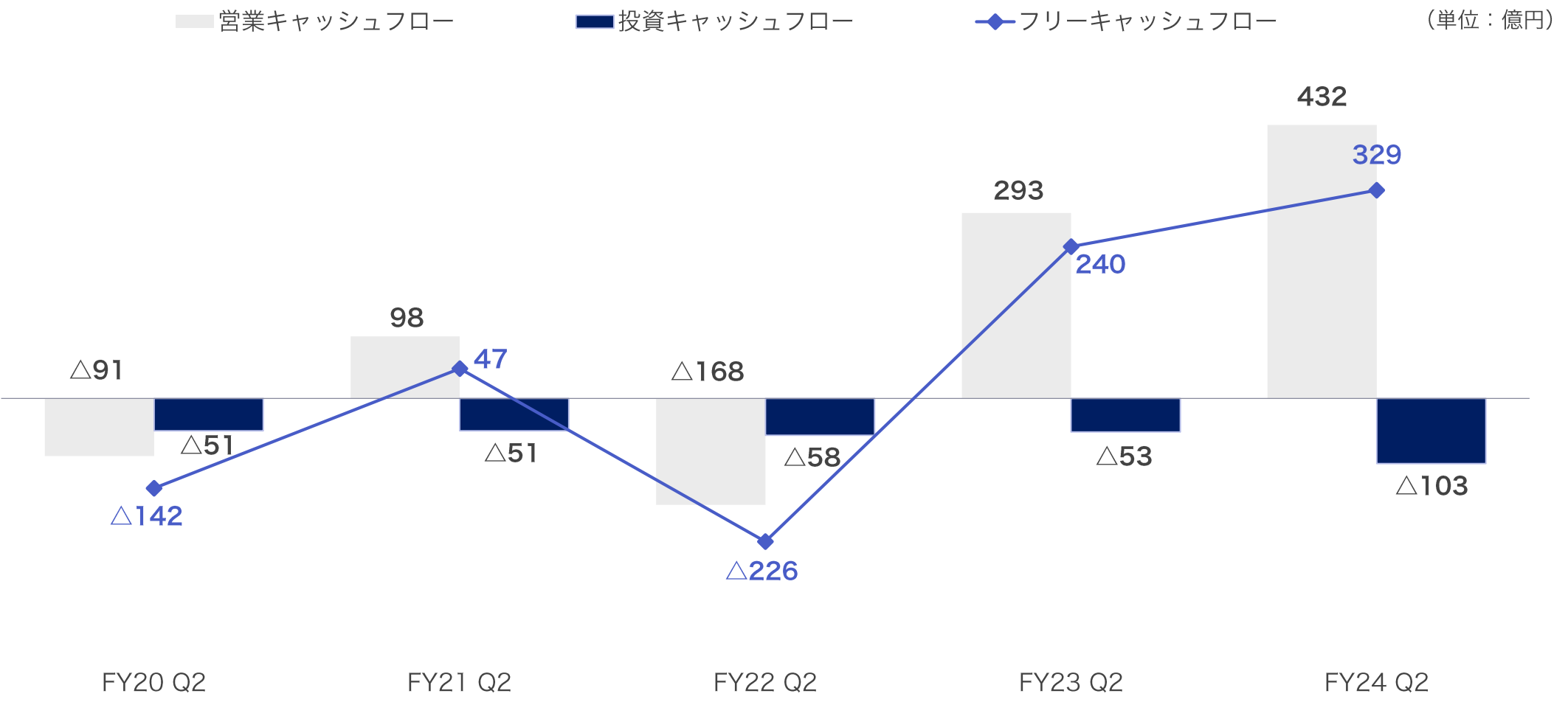
連結貸借対照表

- ・ 好調な売上や為替影響による売掛金の増加などで運転資本は増加も、純資産積上げの範囲内。
- ・ 手元現預金を社債償還、自己株式取得などに充当し、現預金水準をコントロール。
- ・ 為替影響により総資産は膨らみがあったものの、純利益の増加により、自己資本比率は前期末比4.2ppt改善の48.3%。



連結キャッシュフロー

- ・ 好調な業績を背景に、中間期としては過去最高の営業キャッシュフロー（432億円）を創出。
- ・ 物流効率化を目的とした欧州、豪州での物流倉庫の増強により、設備投資は例年に比べ高水準。
- ・ 利益の積上げに加え在庫適正化の取組みを継続し、成長投資や株主還元のためのキャッシュを確保していく方針。



連結棚卸資産残高

- 棚卸資産残高は為替影響による押し上げにより、前年同期比で実質220億円減少（為替影響+93億円）、前期末比では実質38億円減少（為替影響+107億円）。
- 棚卸資産回転期間は、前年同期比で27日改善、前期末比では8日改善。
- 好調な売上や仕入コントロールにより前年同期比で在庫が減少、中国は成長に伴い在庫は増加も棚卸資産回転期間は改善。

■連結

(単位：億円)	FY23 Q2	FY23Q4	FY24 Q2	前年同期比	前期末比
連結	1,408	1,212	1,281	△127	+69
内、洋上在庫	195	213	260	+65	+47
DIO (棚卸資産回転期間)	181日	162日	154日	△27日	△8日

■カテゴリー別※

(単位：億円)	FY23 Q2	FY23Q4	FY24 Q2	前年同期比	前期末比
P.RUN	658	555	529	△129	△26
CPS	128	137	130	+2	△7
APEQ	117	96	86	△31	△10
SPS	109	101	125	+16	+24
OT	131	132	165	+34	+33

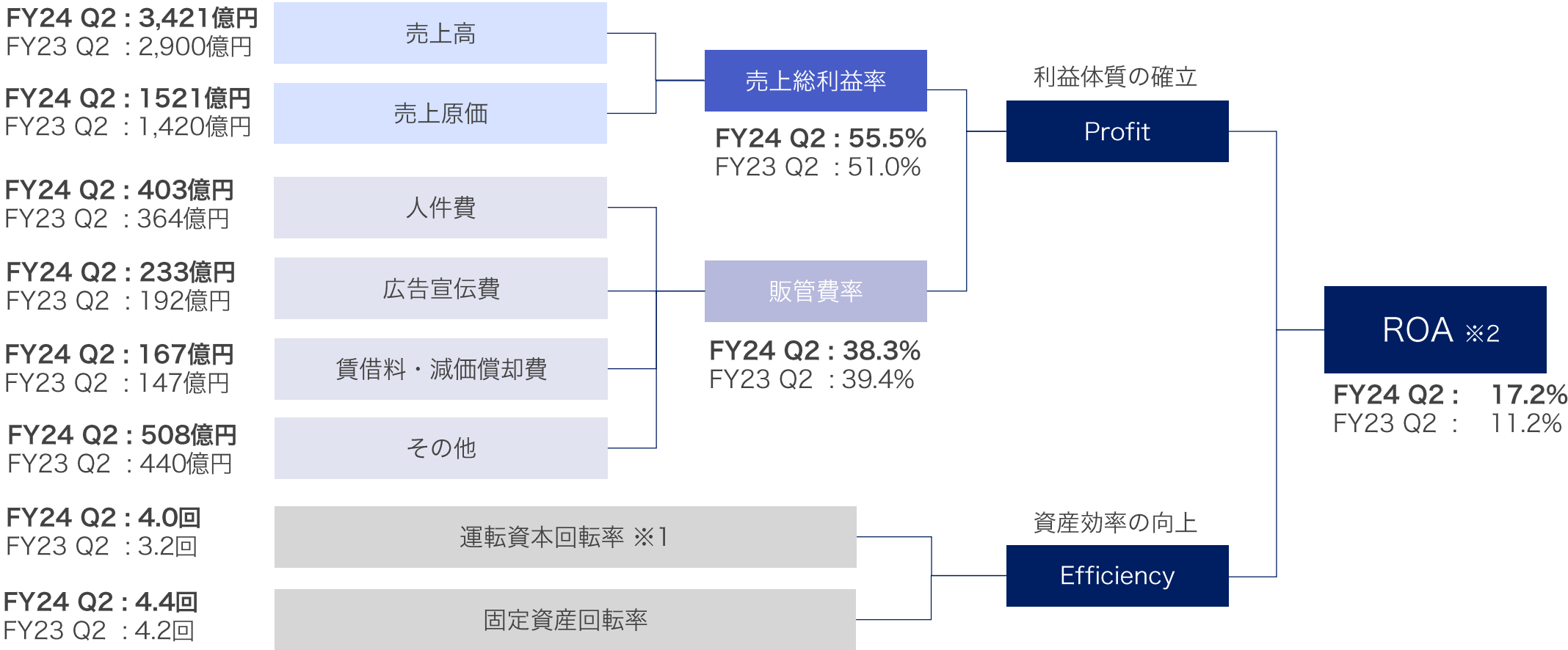
■主要地域別

(単位：現地通貨)	FY23 Q2	FY23Q4	FY24 Q2	前年同期比	前期末比
アシックスジャパン（億円）	167	151	118	△49	△33
米国（M USD）	194	164	156	△38	△8
欧州（M EUR）	256	236	212	△44	△24
中国（M RMB）	674	707	746	+72	+39

33 ※ カテゴリー別棚卸資産残高には洋上在庫を含めておりません。

ROAツリー分解

- ・ プロダクト・チャネル・リージョンミックスの改善継続により、売上総利益率が大幅に上昇.
- ・ 売上が伸長も運転資本は減少し、運転資本回転率も大きく改善.



※1 社内目標として運転資本を設定しているため流動資産回転率ではなく運転資本回転率を記載しております。

※2 ROA = $\frac{2024年12月期中間純利益}{(2023年12月期末総資産 + 2024年12月期第2四半期総資産) \div 2} \times 2$

INDEX

1. 決算ポイント、トピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
- 6. 連結業績予想**
7. その他

Appendix

2024年12月期 連結業績予想

- 2024年12月期は、パフォーマンスランニングを軸に、スポーツスタイルとオニツカタイガーの足元の好調な状況を考慮した結果、売上高および各段階利益はいずれも過去最高となる見込み。
- 剰余金の配当は、当期の業績やキャッシュ・フローの状況を総合的に勘案した結果、中間配当40円、期末配当10円（株式分割後）を見込む。
なお、株式分割を考慮しない場合の期末配当の予想額は、期末配当40円の通期80円を見込む。

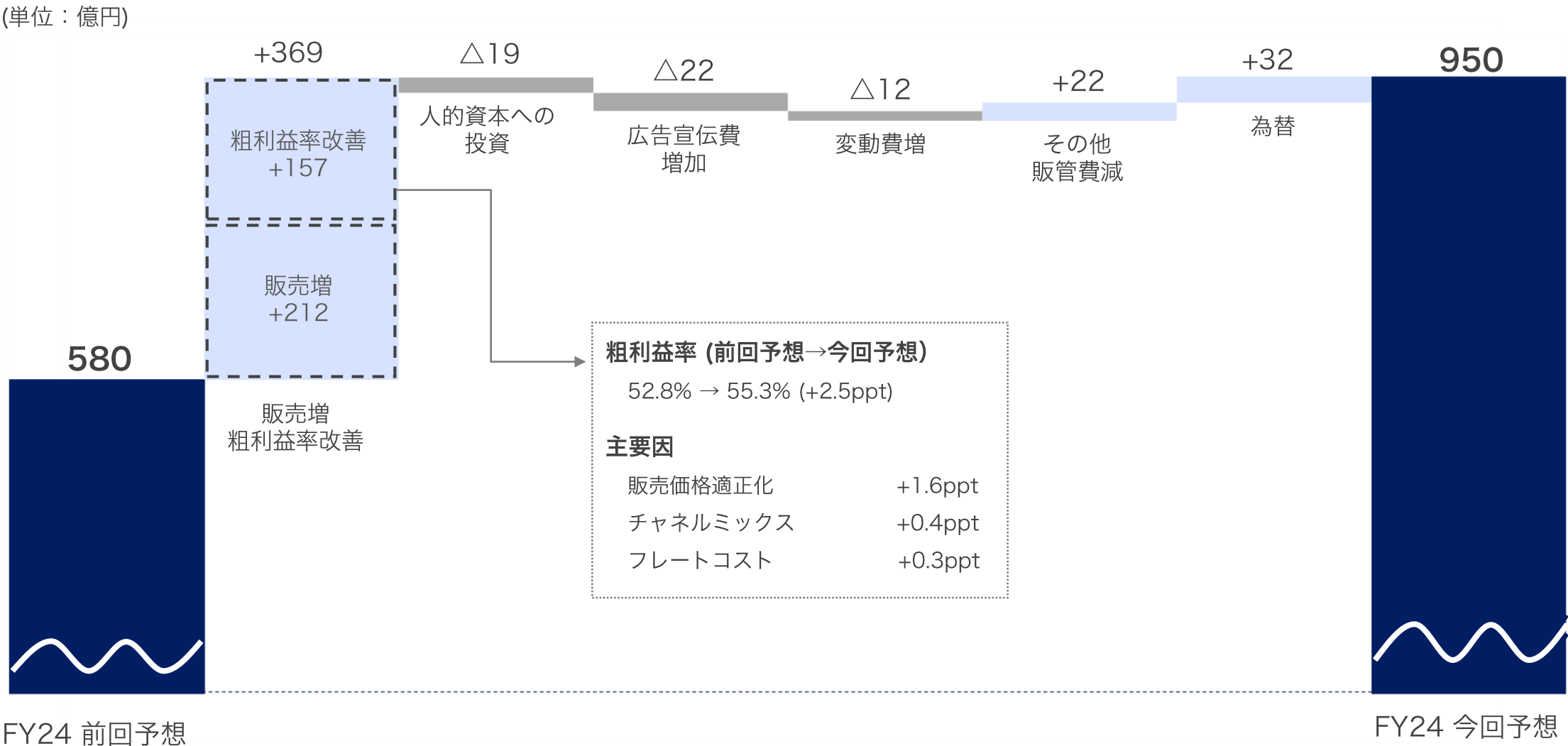
(単位：億円)			FY23 実績	FY24 予想	増減率	(ご参考) 為替影響除く増減率
売	上	高	5,704	6,600	+15.7%	+11.9%
営	業	利 益	542	950	+75.2%	+71.6%
営	業	利 益 率	9.5%	14.4%	+4.9ppt	-
経	常	利 益	506	890	+75.6%	-
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る						
当	期	純 利 益	352	580	+64.4%	-

配当金	中間	期末	通期
2023年12月期	25.0円	40.0円	65.0円
2024年12月期	40.0円	10.0円	- 円(※)

為替レート	USD	EUR	RMB
2023年12月期	140.45円	152.24円	19.86円
2024年12月期	150.00円	160.00円	20.00円

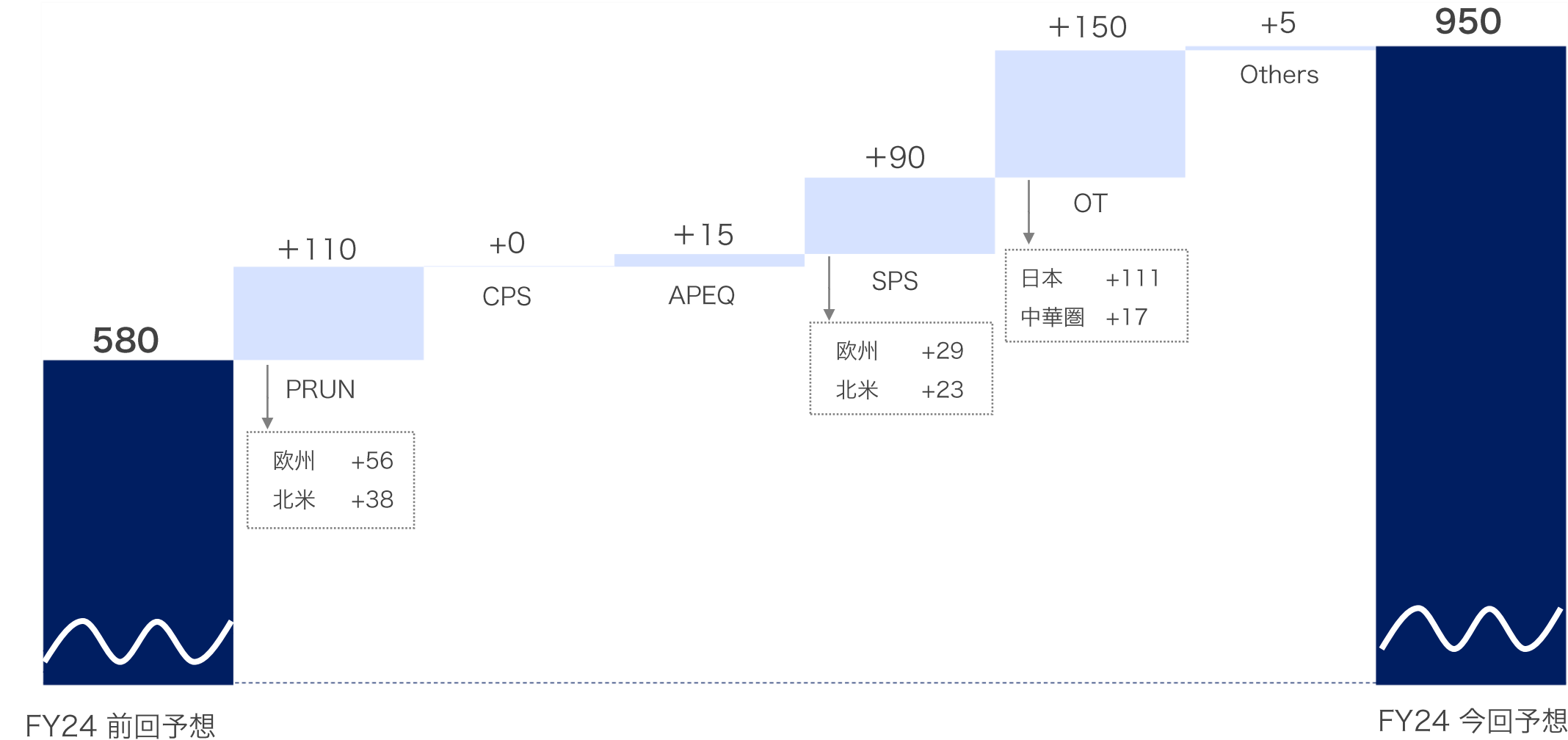
※ 2024年 7 月 1 日を効力発生日として 1：4 の株式分割を実施。

2024年12月期 連結営業利益予想増減：要素別



2024年12月期 連結営業利益予想増減：カテゴリー別

(単位：億円)



INDEX

1. 決算ポイント、トピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
- 7. その他**

Appendix

ESGに関する取組み

サステナビリティレポート2023発行

([こちら](#)からご確認いただけます)

- 英語版を6月、日本語版を7月に発行
- 今回からマテリアリティに沿った構成に変更



E 環境

- リサイクルできるランニングシューズ「NIMBUS MIRAI」を4月に発売
- パリ2024 TEAM JAPANにオフィシャルスポーツウェアを提供
代表選手が着用するポディウムジャケット・パンツの温室効果ガス排出量は
前回大会比34%削減 (詳細は[こちら](#)からご確認いただけます)



NIMBUS MIRAI



カーボンフットプリントを表示した
オフィシャルスポーツウェア

S 社会

- 海外サプライチェーンにおける「結社の自由」の確保と推進のための取組み
 - 国際労働基準に則って定めた「サプライヤー行動規範」のとおり、労働者の権利や労働組合結成の自由を尊重し、ビジネスパートナーとともに倫理的に事業慣行を推進することを宣言
 - この方針に従い、ステークホルダーとの対話や、工場の監査や工場運営の改善に継続的かつ積極的に取り組む
- 「神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会」のプラチナスポンサーとして、選手へのサポートのほか大会スタッフやボランティアが着用するユニホームやシューズなどを提供
- 日本デフ陸上競技協会とオフィシャルトップパートナー契約を締結

G ガバナンス

- 地域事業会社CEOを含むマネジメントが、中期経営計画2026達成に向け経営課題等を議論する「グローバルサミット」を6月に初めて開催

無形資産に関する取組み

統合報告書2023発行 [\(こちらからご確認いただけます\)](#)

- 新たな経営体制での初めての統合報告書となり、新リーダーシップメンバーからのコミットメントを掲載
- アシックスの強みだけでなく、弱みにもしっかりと向き合い、課題と戦略を記載



特集

1 COO×SAP社 CROとの対談

- 「グローバル×デジタル」をテーマに対談を実施
- SAP社から見たアシックスのデジタル/ITについて発信



特集

2 CFO×投資家 対談

- 著書の中で、アシックスに対する厳しい指摘をされている農林中金バリュース・インベストメントズのCIO 奥野氏と対談を実施



特集

3 社外取締役×セルサイドアナリスト×機関投資家 座談会

- 社外取締役と資本市場関係者（アナリスト/投資家）との対談を初めて実施
- 取締役会の実効性等の実態を発信する機会を創出



INDEX

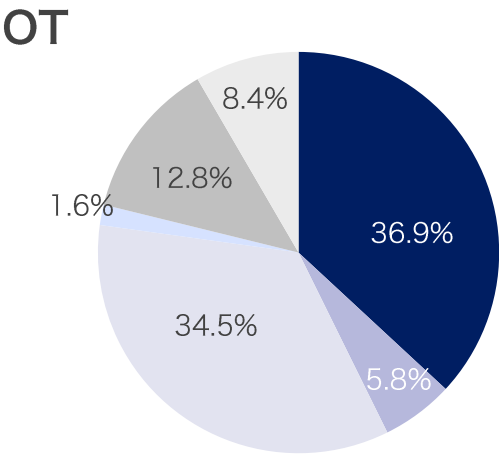
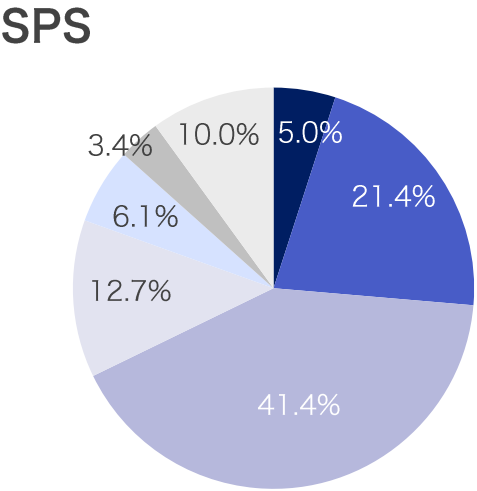
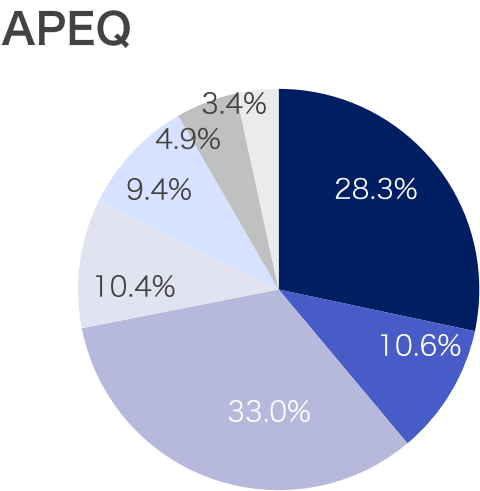
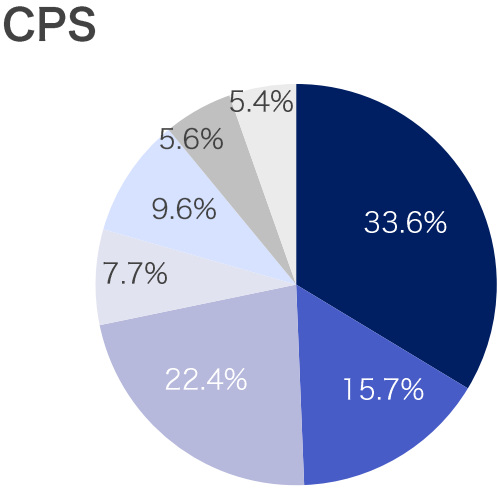
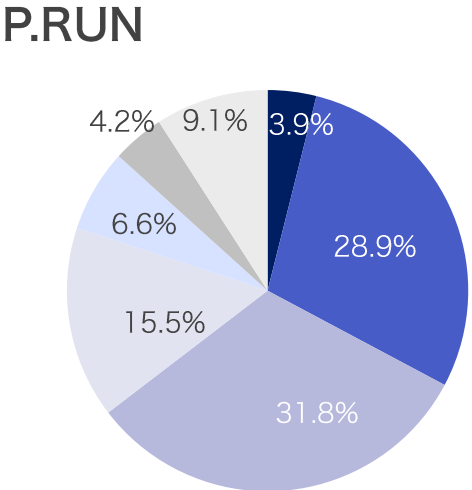
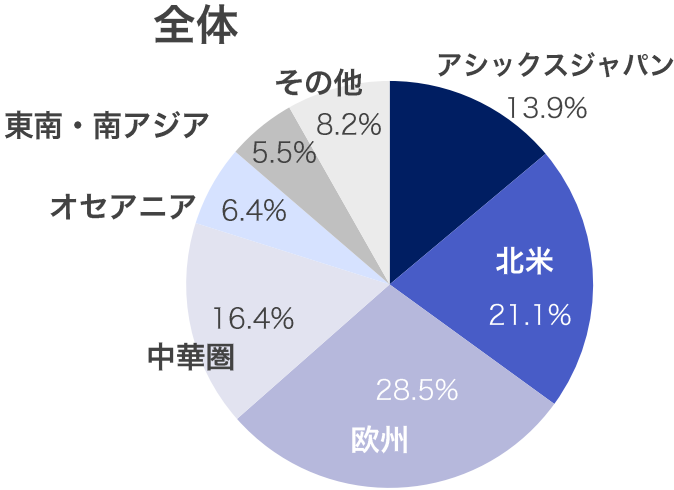
1. 決算ポイント、トピック
2. 連結業績
3. 連結経営成績（カテゴリー別）
4. 連結経営成績（地域別）
5. 連結財政状態
6. 連結業績予想
7. その他

Appendix

主な予定		登壇者（予定）
11月8日	2024年12月期第3四半期決算 決算発表 ライブ配信 機関投資家、アナリスト、報道機関向け	COO 富永、CFO 林
11月19日	第11回 インベストメントデイ テーマ：「中期経営計画2026の見直し」及び「SPS戦略」（予定）	未定
2025年2月	2024年12月期決算 決算発表 決算説明会 報道機関向け 決算説明会 機関投資家、アナリスト、報道機関向け	CEO 廣田、COO 富永、CFO 林

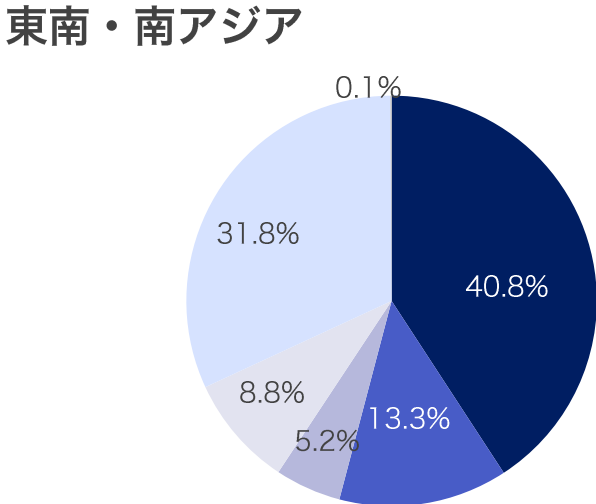
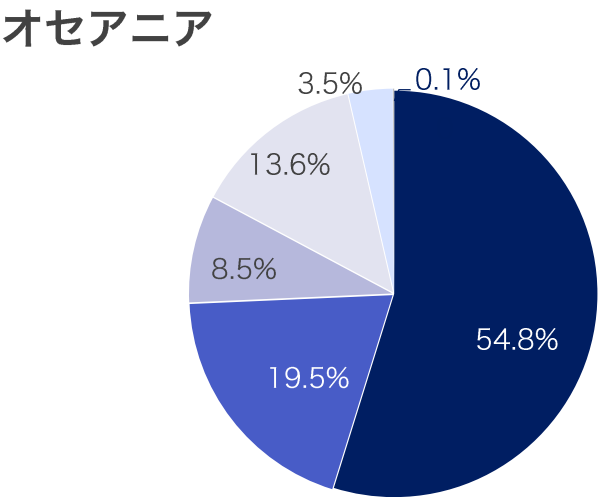
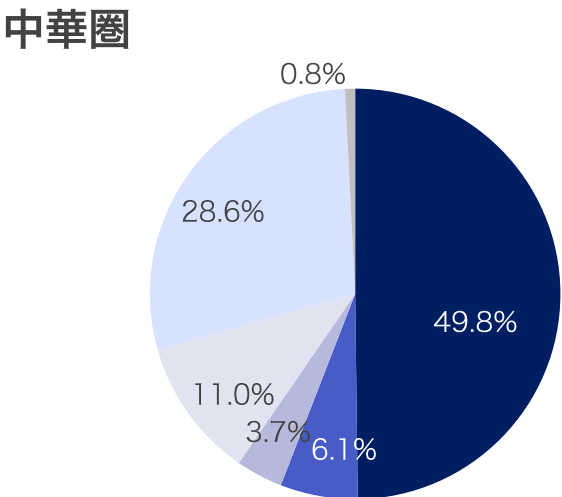
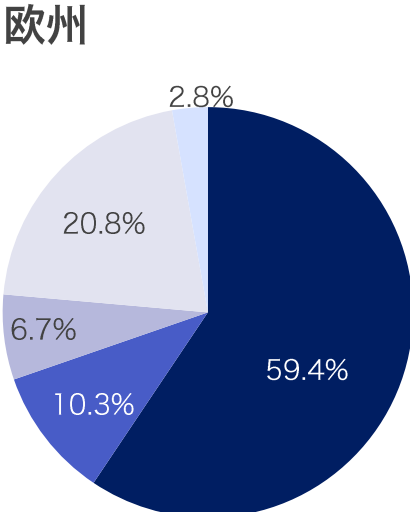
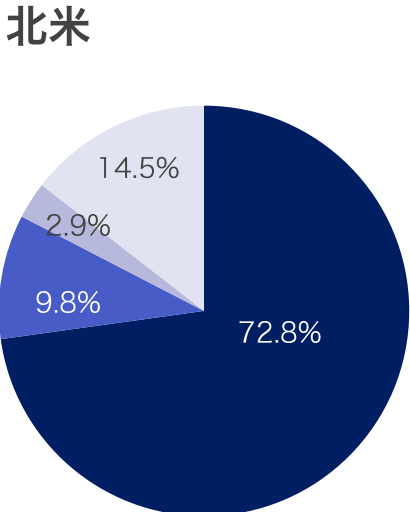
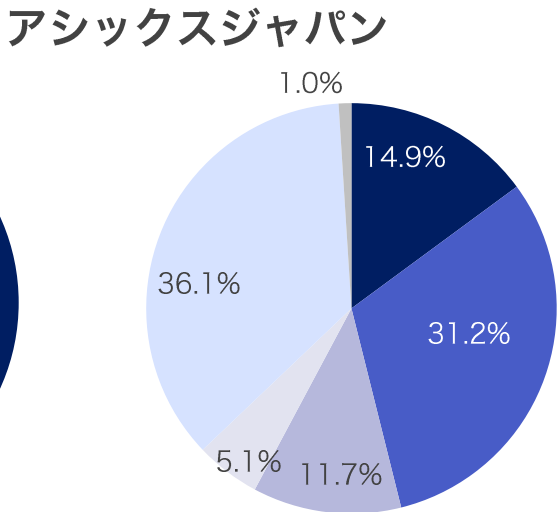
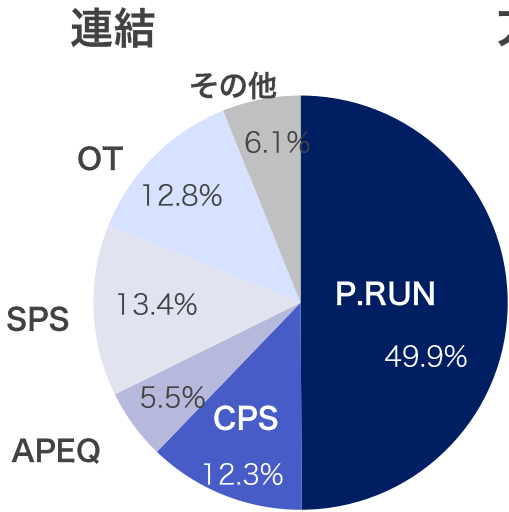
■ カテゴリー別地域別売上高構成（2024年第2四半期）

■ アシックスジャパン ■ 北米 ■ 欧州 ■ 中華圏 ■ オセアニア ■ 東南・南アジア ■ その他



主要地域別カテゴリー別売上高構成（2024年第2四半期）

■P.Run ■CPS ■APEQ ■SPS ■OT ■その他



2024年12月期 第2四半期（中間期） 地域別実績

(単位：億円)

日本	FY23 Q2 (1-6月)	FY24 Q2 (1-6月)	前年同期比		中華圏	FY23 Q2 (1-6月)	FY24 Q2 (1-6月)	前年同期比	
			増減額	増減率				増減額	増減率
売上高	691	798	+107	+15.6%	売上高	404	530	+126	+31.3%
為替影響除く		798	+107	+15.6%	為替影響除く		490	+86	+21.5%
営業利益	80	130	+50	+62.5%	営業利益	84	119	+35	+40.8%
営業利益率	11.6%	16.3%	-	+4.7ppt	営業利益率	21.1%	22.5%	-	+1.4ppt
アシックスジャパン (日本地域の内数)	FY23 Q2 (1-6月)	FY24 Q2 (1-6月)	前年同期比		オセアニア	FY23 Q2 (1-6月)	FY24 Q2 (1-6月)	前年同期比	
			増減額	増減率				増減額	増減率
売上高	363	451	+88	+24.2%	売上高	188	206	+18	+9.4%
為替影響除く		451	+88	+24.2%	為替影響除く		187	△1	△0.6%
営業利益	48	104	+56	+116.7%	営業利益	31	37	+6	+18.6%
営業利益率	13.4%	23.1%	-	+9.7ppt	営業利益率	16.6%	18.0%	-	+1.4ppt
北米	FY23 Q2 (1-6月)	FY24 Q2 (1-6月)	前年同期比		東南・南アジア	FY23 Q2 (1-6月)	FY24 Q2 (1-6月)	前年同期比	
			増減額	増減率				増減額	増減率
売上高	559	677	+118	+21.1%	売上高	134	176	+42	+31.1%
為替影響除く		604	+45	+8.1%	為替影響除く		161	+27	+20.8%
営業利益	5	67	+62	+1,227.7%	営業利益	29	39	+10	+33.2%
営業利益率	0.9%	9.9%	-	+9.0ppt	営業利益率	22.1%	22.4%	-	+0.3ppt
欧州	FY23 Q2 (1-6月)	FY24 Q2 (1-6月)	前年同期比		その他地域	FY23 Q2 (1-6月)	FY24 Q2 (1-6月)	前年同期比	
			増減額	増減率				増減額	増減率
売上高	783	915	+132	+16.9%	売上高	242	243	+1	+0.7%
為替影響除く		817	+34	+4.5%	為替影響除く		222	△20	△8.5%
営業利益	79	150	+71	+89.6%	営業利益	26	43	+17	+64.3%
営業利益率	10.2%	16.5%	-	+6.3ppt	営業利益率	11.0%	17.9%	-	+6.9ppt

2024年12月期 第2四半期（中間期） 地域別実績

(単位：億円)

日本	FY23 Q2 (4-6月)	FY24 Q2 (4-6月)	前年同期比		中華圏	FY23 Q2 (4-6月)	FY24 Q2 (4-6月)	前年同期比	
			増減額	増減率				増減額	増減率
売上高	328	398	+70	+21.5%	売上高	213	292	+79	+37.3%
為替影響除く		398	+70	+21.5%	為替影響除く		268	+55	+25.6%
営業利益	33	65	+32	+95.0%	営業利益	39	62	+23	+55.0%
営業利益率	10.0%	16.1%	-	+6.1ppt	営業利益率	18.7%	21.1%	-	+2.4ppt
アシックスジャパン (日本地域の内数)	FY23 Q2 (4-6月)	FY24 Q2 (4-6月)	前年同期比		オセアニア	FY23 Q2 (4-6月)	FY24 Q2 (4-6月)	前年同期比	
			増減額	増減率				増減額	増減率
売上高	166	213	+47	+28.3%	売上高	73	90	+17	+22.1%
為替影響除く		213	+47	+28.3%	為替影響除く		78	+5	+7.6%
営業利益	21	52	+31	+147.6%	営業利益	11	12	+1	+14.0%
営業利益率	12.7%	24.4%	-	+11.7ppt	営業利益率	14.4%	13.4%	-	△1.0ppt
北米	FY23 Q2 (4-6月)	FY24 Q2 (4-6月)	前年同期比		東南・南アジア	FY23 Q2 (4-6月)	FY24 Q2 (4-6月)	前年同期比	
			増減額	増減率				増減額	増減率
売上高	298	347	+49	+16.5%	売上高	65	85	+20	+30.4%
為替影響除く		309	+11	+3.5%	為替影響除く		77	+12	+19.5%
営業利益	8	33	+25	+279.8%	営業利益	12	17	+5	+39.6%
営業利益率	2.9%	9.3%	-	+6.4ppt	営業利益率	19.0%	20.3%	-	+1.3ppt
欧州	FY23 Q2 (4-6月)	FY24 Q2 (4-6月)	前年同期比		その他地域	FY23 Q2 (4-6月)	FY24 Q2 (4-6月)	前年同期比	
			増減額	増減率				増減額	増減率
売上高	339	432	+93	+27.4%	売上高	112	116	+4	+4.5%
為替影響除く		387	+48	+14.4%	為替影響除く		109	△3	△3.0%
営業利益	14	54	+40	+285.0%	営業利益	8	18	+10	+131.6%
営業利益率	4.1%	12.5%	-	+8.4ppt	営業利益率	7.2%	15.9%	-	+8.7ppt

2024年12月期 連結業績予想：カテゴリー別

(単位：億円)		FY24 前回予想	FY24 今回予想	増減率	為替影響を除く 増減率	FY23 実績	増減率	為替影響を除く 増減率
P.RUN	売上高	3,000	3,220	+7.3%	+1.6%	2,859	+12.6%	+8.0%
	カテゴリー利益	570	680	+19.3%	+14.5%	500	+36.0%	+32.0%
	カテゴリー利益率	19.0%	21.1%	+2.1ppt	-	17.5%	+3.6ppt	-
CPS	売上高	800	790	△1.3%	△5.2%	721	+9.5%	+6.3%
	カテゴリー利益	130	130	+0.0%	△3.4%	128	+1.5%	△0.9%
	カテゴリー利益率	16.3%	16.5%	+0.2ppt	-	17.8%	△1.3ppt	-
APEQ	売上高	350	360	+2.9%	△1.6%	361	△0.5%	△3.7%
	カテゴリー利益	15	30	+100.0%	+86.6%	10	+199.4%	+185.4%
	カテゴリー利益率	4.3%	8.3%	+4.0ppt	-	2.8%	+5.5ppt	-
SPS	売上高	680	900	+32.4%	+24.8%	592	+51.9%	+45.6%
	カテゴリー利益	130	220	+69.2%	+60.3%	120	+82.6%	+75.7%
	カテゴリー利益率	19.1%	24.4%	+5.3ppt	-	20.3%	+4.1ppt	-
OT	売上高	670	900	+34.3%	+30.7%	603	+49.2%	+47.4%
	カテゴリー利益	170	320	+88.2%	+84.9%	153	+108.3%	+106.7%
	カテゴリー利益率	25.4%	35.6%	+10.2ppt	-	25.5%	+10.1ppt	-

2024年12月期 連結業績予想：地域別

(単位：億円)		FY24 前回予想	FY24 今回予想	増減率	為替影響を除く 増減率	FY23 実績	増減率	為替影響を除く 増減率
日本 地域 ※1	売上高	1,380	1,620	+17.4%	-	1,358	+19.2%	-
	営業利益	140	270	+92.9%	-	127	+111.0%	-
	営業利益率	10.1%	16.7%	+6.6ppt	-	9.4%	+7.3ppt	-
うち、アシックスジャパン ※2	売上高	750	920	+22.7%	-	708	+29.8%	-
	営業利益	95	220	+131.6%	-	72	+203.2%	-
	営業利益率	12.7%	23.9%	+11.2ppt	-	10.2%	+13.7ppt	-
北米 地域	売上高	1,110	1,300	+17.1%	+9.5%	1,146	+13.4%	+6.5%
	営業利益	15	90	+500.0%	+481.9%	14	+524.6%	+507.3%
	営業利益率	1.4%	6.9%	+5.5ppt	-	1.3%	+5.6ppt	-
欧州 地域	売上高	1,480	1,680	+13.5%	+6.8%	1,479	+13.5%	+8.3%
	営業利益	125	220	+76.0%	+66.7%	141	+55.0%	+48.7%
	営業利益率	8.4%	13.1%	+4.7ppt	-	9.6%	+3.5ppt	-
中華圏 地域	売上高	935	990	+5.9%	+3.3%	776	+27.6%	+26.6%
	営業利益	175	200	+14.3%	+11.5%	131	+52.6%	+51.5%
	営業利益率	18.7%	20.2%	+1.5ppt	-	16.9%	+3.3ppt	-
オセアニア 地域	売上高	375	420	+12.0%	+0.8%	384	+9.2%	+1.9%
	営業利益	60	70	+16.7%	+4.5%	62	+12.2%	+4.4%
	営業利益率	16.0%	16.7%	+0.7ppt	-	16.2%	+0.5ppt	-
東南・南アジア 地域	売上高	330	360	+9.1%	+3.1%	271	+32.7%	+28.1%
	営業利益	60	70	+16.7%	+9.9%	49	+40.8%	+36.0%
	営業利益率	18.2%	19.4%	+1.2ppt	-	18.3%	+1.1ppt	-

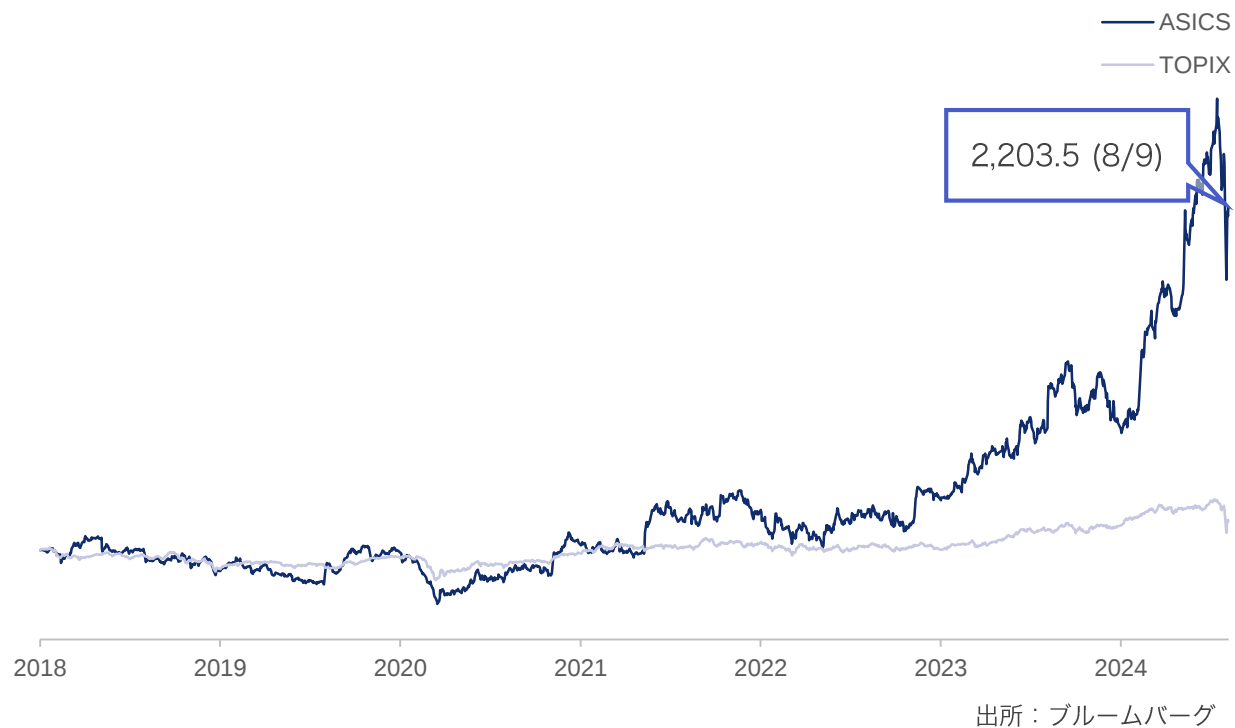
※1 日本地域には、他の地域にはない主要5カテゴリー以外を販売する会社も含まれております。他の地域との比較可能性を考え、アシックスジャパンを日本地域の内訳として記載しております。
 なお、日本地域には、アシックスジャパン、アシックス商事、ニシスポーツなどの会社を含みます。

※2 前期との比較可能性を考え、アシックスジャパンのFY23売上高と営業利益からは、FY24よりアシックス商事に移管した事業の売上高と営業利益を除いており、2月9日に発表したガイダンスからは表記が変更となっております。
 なお、移管した事業の2023年通期売上高は139億円、営業利益は11億円です。

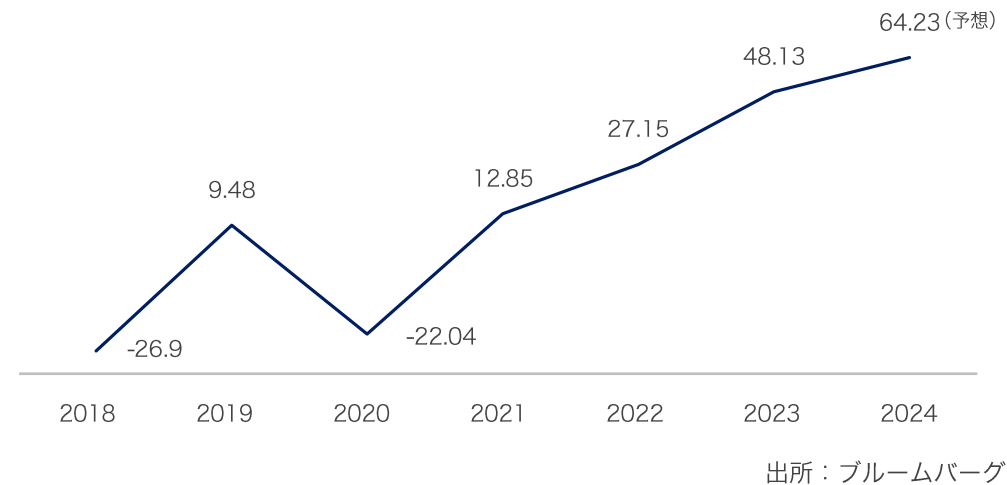
© 2024 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

株価及び指標の推移

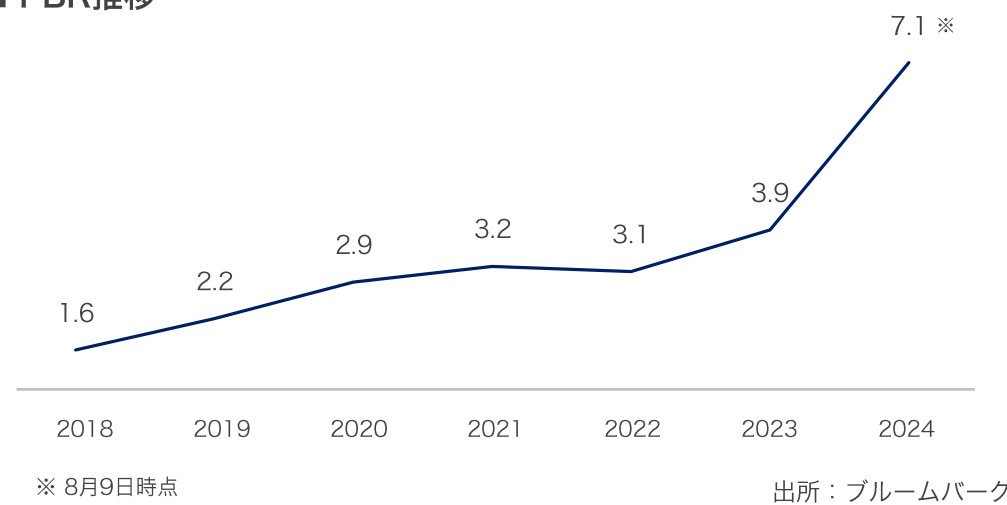
■ 株価推移 2017年末 - 2024年8月9日



■ EPS推移



■ PBR推移





DISCLAIMER 将来見通しに関する記述についての注意

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、これらの業績見通しのみに全面的に依拠することは控えてくださいますよう、お願いいたします。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実性により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性には、当社の事業を取り巻く経済情勢、さまざまな競争圧力、関連法律・法規、為替レートの変動などを含みます。ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。